E1.2.0.XI-R1

文書課長

公信案

文書課發送 昭和七年拾月廿壹日發送濟

主管 歐米局長 主任 第一課 (起草 昭和七年十月二十六日)

浄書 校正(原稿) (浄書)

(甲號用紙)

歐一 機密 普通 第 三三五五 號 電報 年 月 日附 昭和七年拾月廿八日 附屬書 通

受信人名 大藏次官 商工次官

発信人名 有田次官

件名 「ソ」聯邦ノ第二期及第三期ノ財政ノ狀況ニ關シ報告ノ件

綴込名 各国財政経済及金融

本件ニ關シ今般在「ソヴィエト」聯邦天羽代理大使ヨリ別紙寫ノ通報告アリタルニ付爲御參考右茲ニ送付ス

(昭和七年十月二日附在「ソ」聯邦大使館來(電)機密第三七(號寫並附屬書寫)

公信案

外務省

28 28

歐米局 第一課

公第六號

昭和七年十月三十一日

外務大臣伯爵 内田康哉殿

在オデッサ 領事 田中文一

「ソ」聯邦國民經濟ノ大勢ニ關スル件

本年七月ヨリ九月ニ至ル第三期ニ於ケル「ソ」聯邦國民經濟事情別紙ノ通リ茲ニ報告申進ス

別紙添付

昭和七年十月廿八日接受

BJ

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

正

昭和七年十月

「ソ」聯邦國民經濟ノ大勢

（一九三二年第三期）

在オデッサ帝國領事館

在オデッサ日本領事館

D

目次

	頁
總說	一
第一 農業	五
一、收穫	一〇
(一) 政府當局ノ措置	一〇
●收穫「カムペイン」ニ關スル政府及黨ノ決議 ●收穫穀物ノ喪失防止 ●農產物盜難防止 ●當局ノ措置實行狀況	
(二) 收穫ノ實況	一七

在オデッサ日本領事館

D

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

●刈取　●水堆積　●打穀　二四

二、穀物買上　三〇

三、秋期播種

●播種ニ關スル當局ノ措置

●「コルホズ」ノ借馬許可

●種子貸下不許可

四、農業政策ニ關スル政府ノ措置　四三

(一)「コルホズ」土地利用恒久性設定　四三

(二)收穫率向上方策ニ關スル政府及黨ノ決定　四六

(三)穀物及養畜「ソフホズ」人民委員部新設　五一

(四)高等共産農科大學ノ開設　五四

第二　工業生産

一、石炭　五七

二、石油　六一ノ三

三、泥炭　六六

四、鐵鋼業　七一

五、銅　七二

六、機械製造　八三

七、輕工業及食品工業　八八

八、産業組合改組ニ關スル政府ノ措置　九一

九、日用品生産ニ關スル黨ノ決議　九八

第三　運輸　一〇三

一一二

E-0286

0305

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

一、鐵道運輸　一一二
二、河川水運　一一四
第四　商業
一、村落ニ對スル商品ノ供給　一一七
二、「ソウエト」商業ニ關スル黨ノ決議　一二一
三、外國貿易　一三〇
第五　財政金融
一、七月ノ財務成績　一三七
二、民間資金ノ動員　一三九
三、公債　一四〇
四、紙幣ノ增發　一四二
五、金融　一四五
第六　專門家ノ養成
一、高等學校及中等專門學校ノ「プログラム」及「レヂム」ニ關スル件　一四七
二、「スチペンヂヤ」　一四九
一、高等學校及中等專門學校ノ「プログラム」及「レヂム」ニ關スル件　一五〇
二、「スチペンヂヤ」　一五五
（終）

在オデッサ日本領事館

E-0286
0306
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

「ソ」聯邦國民經濟ノ大勢（第三期）

總說

本期ハ收穫、穀物買上及秋期播種等ノ農繁時期ナル處本春來農業ノ不振、農村ノ悲況顯著トナリタルヲ以テ之等農事「カムペイン」ニ對シ當局ハ絶大ノ努力ヲ以テ指導シ之カ爲メニハ他ヲ閑却スル程度ナリキ

然ルニ其成績ハ思ハシカラス穀物ノ刈取ニシテモ九月十日現在ニテ

「ブラン」ノ八五％、昨年九月一日現在ノ刈倒地積ヨリモ五百萬「ヘクタル」餘少ナク晩熟種ノ不作ト共ニ憂フヘキ狀態ニシテ而モ打穀モ例年ヨリ遙ニ遲ク從テ穀物ノ買上モ十月一日迄ニ豫定年額ノ三七％ヲ實行シ昨年同期ニ於ケル四三、七％ヨリモ遙ニ劣リ秋期播種地積ハ十月一日現在ニテ昨年ヨリ二百二十萬「ヘクタル」近ク少ナク農業全般ヲ通シテ南露主要農耕地方成績不良ニシテ殊ニ「ウクライナ」最モ惡シク社會部門ニ付テハ國營農場ノ成績カ最下ニシテ機械設備其他ノ政府ノ保護ニ於テ最モ惠マレサル個人農家ヨリ劣レルコトハ寧ロ不思議トスル程ナリ

工業生產ハ銑鐵製煉高カ豫定ノ八割臺ナル外採炭、採油、製鋼等孰レモ七割臺ニシテ八月ノ如キハ六割臺ニ落チタリ重工業ニ於ケル機

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

械力ノ應用ハ農業同樣ニ不充分ニシテ幾多ノ缺陷アリ輕工業ニ於テモ日用品ノ追加生產計畫有リ產業組合ニモ特別ノ寬典ヲ與ヘテ日用品ノ製造增加ヲ圖リタルカ其絕對生產高ハ昨年ニモ劣ル程ニシテ食品工業モ同樣豫定ニ達セス

右ニ對シ農業ニ關シテハ黨及政府ノ決定ニテ近來工業原料作物野菜等ノ栽培增進シ穀物耕作カ減退スル傾向ニ在ルヲ以テ前者ノ增加ハ停止シ穀物ノ作付ヲ多クスルノ方針ヲ定メ穀物及養畜「ソフホズ」ニ關スル事務ヲ農務部ヨリ分離シ獨立ノ一人民委員部ヲ新設セリ

工業及供給ニ付テハ黨本部ハ九月末總會ヲ開キ「ソウエト」商業、日用品製造及黑金屬業ニ關スル決議ヲ爲セリ蓋シ此等ハ剝下ノ緊急問題ニシテ「ソ」聯邦國民經濟ノ休戚ニ關スルモノニシテ經濟政策

ノ變轉モ窺ハルモノナリ

鐵道運輸及交通ハ昨秋首腦部ノ更迭及其他對策ヲ講シテ以來大ニ改善シタルカ其成績ハ本年六月以來逐月低下シ九月少シク向上シ荷物積出一日平均貨車數ハ「プラン」ノ八割臺ニナレルモ本期ハ昨年同期ヨリ少ナク列車ノ運行、機關車ノ狀態殆ント改善ナシ

例年九月ヨリ十月ニ掛ケ舊經濟年度末ニテ國民經濟發展ノ狀況ヲ詩示セル「ソ」聯邦新聞雜誌ハ今年ハ右ノ不況ヲ公ニスルヲ好マサルモノカ疊マリタル統計資料及成績ヲ揭ケサルモノアリ

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第一　農　業

本期ニ於ケル農業上ノ行事ハ收穫、穀物ノ賣上及秋期播種並ニ來春播種準備トシテノ墾起ヲ主要ナルモノトス

收穫事業ノ進捗程度ハ昨年ニ比シ甚タシク遲レ昨年甚タシカリシ落穗、刈殘シ等ニ依ル收穫中ノ穀物ノ喪失ハ當局ノ指導奬勵ニ依リ堆積セル量ハ增シ落穗ハ「オデツサ」附近ノ狀態ヲ以テ律セハ減少セルモ奥地刈殘ハ免レサルヘク打穀ハ遲々タリ

收穫率ハ種子貸下不許可ニ關スル政府決定中ニハ平作以上ニシテ種子ハ充分ナリト云ヒ居ルモ蹶ハシク冬蒔物ハ或ハ平作以上ナランモ春蒔穀物ニ付テハ初夏ノ降雨過多、生熟期ノ冷氣ト播種ニ對スル農民ノ態度等ヨリ看テ不良ト斷スヘシ

穀物ノ刈倒シ、打穀成績ノ不良ハ延テ穀物ノ賣上ニモ影響ヲ及ホシ作付地積ノ減少及農家窮乏ニ顧ミ賣上豫定高ハ昨年ヨリ著シク減少セルニ不拘其成績ハ不良ナリ

秋期播種ハ八月後半ヨリ初マリタルカ當初ハ北部早蒔ヲ要スル地方ハ降雨ノ爲メ遲レ九月末南部ハ降雨無ク土地硬化ニ依ル耕作不便等氣象上ノ原因ト「トラクター」及馬匹ノ不足、配分不良並ニ指導ノ不足、勞働者ノ移動等ニ依リ之又昨年ヨリ遲レ聯邦政府豫定ノ播種

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

終了期タル十月十日現在播種總地積三千五十三萬八千「ヘクタル」、「プラン」ノ七四、六%ニシテ昨年同期ヨリ百七十二萬四千「ヘクタル」少ナク右減少分ノ約九割ハ「ウクライナ」ニ屬ス

是等農事ニ付地方別ニ見レハ歐露中央部、西部西伯利ハ好成績ヲ擧ケツヽアルモ最モ重要ナル農耕地方タル南部ノ「ウクライナ」及北高架索地方ハ全般ニ成績不良ニシテ「ソ」聯邦農業ノ前途ヲ暗クシツヽアリ

而シテ社會部門別ニスレハ國營農場タル「ソフホズ」ハ他ノ部門ニ比シ總テノ點ニ於テ特典ヲ有スルニ不拘其業務不振ニシテ政府ニ對スル穀物ノ納入量ニ於テ個人農家ニモ劣リ「コルホズ」モ其會員ハ收入少ナク其結果之ヲ脱退セントスルモノ多數ヲ出ス程ニシテ其農

事成績個人農家ニ及ハサルモノアリ

農業機械ニ關シテハ其製造ハ計畫通リニ行ハレサルモ其數ノ多キコト驚ク許ナルモ破損多ク修繕間ニ合ハス部分品不足等ニシテ使用ニ堪ユルモノ六、七割、各地ヨリ不足ノ聲アリ而シテ之カ操作ニ習熟セサルモノ多ク爲メニ相當ノ機能ヲ發揮シ難ク從來機械化ノ効果ニ餘リニ頼リタル斯業者ハ最早之ニ信頼スルヲ得サル傾向ニ在リ

右ノ如キ農業ノ實狀ニ對スル善後策トシテ農作物ノ盜取、農民ノ一揆ニ對シテハ銃殺スルノ緊急法律ヲ設ケ穀物耕作減退ノ傾向ヲ阻止スル爲メ收穫率向上ニ關スル決定ヲナシ「ソフホズ」振興ノ爲メ穀物及蒙古「ソフホズ」部ナル獨立ノ人民委員部ヲ新設セリ

當局及黨員ノ農事ニ對スル指導ニ關スル努力ハ非常ニシテ當方面ノ

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

「ソウエト」責任當局ノ如キ六月以來各村落ニ出張シ專ニ當リ居レリ

農民ノ狀態ハ左シタル改善ヲ見ス「ウクライナ」ノ如キ廣大ナル耕地ト氣象上幾多ノ優越ナル地位ニ在ル地方ニ於テ收穫時ニ際シ「パン」ヲ食シ得ルモノ稀ニシテ多クハ玉蜀黍、甜菜、南瓜ト牛乳產品トニ依リ春以來ノ空腹ヲ幾分カ充タシ當局及黨員ノ强制的指導ノ下ニ厭々乍ラ勞働シツヽアリト云フ而シテ「コルホズ」商業ニ依リ乳產品及野菜果物等ハ隨所ニ販賣セラレ其價格ハ騰貴スル一方ナルカ之カ農民ニ與フル影響ハ今ノ處著シカラス

一、收穫

(一) 政府當局ノ措置

一、收穫「カムペイン」ニ關スル政府及黨本部ノ決定

內閣及黨本部ハ農產物收穫「カムペイン」ニ關シ七月五日付決定ヲ以テ收穫ニ當リ從來顯著ナリシ缺點タル穀物及甜菜其他原料用作物等ノ喪失、收穫期ノ遲延、牽引力ノ組織不良、勞働組織ノ缺陷所謂「コムペイヤー」式收穫法ノ誤等ヲ匡正シ之ヲ繰返スカ如キコトナカラシムル爲メ左記要項ノ通リ決定セル旨ヲ公表セリ

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

(一) 農産物喪失防止ノ爲メニハ機械力ヲ充分利用シ刈取リタル穀物ハ速ニ糸堆ニ積ミ尚其盜難ヲ防止スルコト

(二) 農民各人ヲシテ其事業ノ効果ニ興味ヲ持タシメ勞銀ハ出來高制ニ依ルコト

(三) 勞銀ノ算定ニ當リテハ勞働ノ日數及其質ノ如何ヲ吟味シ又穀物ヲ配分スルニ當リテハ家畜ノ現有數ヲ充分ニ調査シタル上之ヲ爲スコト

(四) 「コルホズ」員ニ對スル勞銀前渡トシテハ打穀高ノ一〇―一八%ヲ現物ニテ渡スコトヲ許ス

(五) 農産物買付及勞銀等農民ニ對スル勘定ハ速ニ決濟シ遲滯セシムヘカラス

(六) 今期收穫ノ爲メ「ソフホズ」及「コルホズ」ニ對シ左ノ農業機械及必要品ヲ供給ス

トラクター	一六、一九〇臺
自動車	六、七〇〇臺
收穫機	一七〇百萬留分
内コムバイン	八、五〇〇臺
同部分品	四〇百萬留分
農具修理用鐵材	一二、〇〇〇噸
機械鐵	一二、〇〇〇噸

右決定ハ各地政府及黨機關新聞ニ依リ解説宣傳セラレタリ

「ウクライナ」ニ於テハ本年春期農事ノ不振ニ依リ六月以來「ソウ

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ヱト」及黨ノ各種集會ニテ對策ニ付審議スル處アリ當局ハ村落ニ出張現地ニ於テ宣傳奬勵監督ニ奔走シ新聞ハ大部分ノ紙面ヲ此「カムペイン」ニ割キタリ

右政府及黨本部決定ニ關聯シ次ノ措置アリタリ

二、收穫穀物ノ喪失防止

昨秋收穫期ニ於テ落穗、未刈取、刈倒シタル儘ニテ散失腐敗セル穀物ハ非常ニ多ク收穫高ノ二割ニモ及ヘル由ナリシヲ以テ今年ハ收穫期開始前ヨリ右樣穀物喪失防止ニ努力シ就中聯邦農務部ハ七月十日付決定ヲ以テ各農務機關、「ソフホズ」、MTC及「コルホズ」等ニ對シ收穫穀物喪失防止ノ具體的方法ヲ示シ(一)刈取ハ穀物ノ成熟ヲ待テ之ヲ行ヒ(二)穀物ノ收穫期日ヲ「ソフホズ」、MTC及「コルホズ」ニ付定メ(三)刈取リタル穀物ハ直ニ水堆ニ積ミ(四)冬蒔穀物ハ原則トシテ束ニ束ネ(五)落穗拾收法ヲ示シ(六)打穀機ニハ熱棘セル機械手ヲ附シ(七)運搬上包裝ヲ愼重ニシ(八)納屋、倉庫ノ準備(九)收穫機、打穀機使用時間及收穫面積最少限度ヲ定メ(十)火災防止(十一)麥藁ノ收受(十二)打穀量等ノ由計作成等ニ付指令スル處アリタリ

三、農產物盜難防止

中央執行委員會及內閣ハ八月七日付決定ヲ以テ國營企業、「コルホズ」及「コオペラチヤ」ノ財產保護及公共（社會）所有權確保ノ件ヲ公布シ近來不良分子及一般反社會的分子ノ鐵道及水運ノ貨物及「コオペラチヤ」、「コルホズ」ノ財產ヲ竊取スルモノアリ又「コルホズ」離脫ヲ欲セサル「コルホズ」員ニ對スル「クラキ」分子ノ

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

壓迫脅迫アル旨ノ訴アル處公共所有權ハ「ソウエト」制度ノ基礎ニシテ神聖ニシテ不可侵ナルヲ以テ之ヲ侵サントスルモノハ人民ノ敵ト見做スヘク依テ(一)鐵道及水運貨物並ニ「コルホズ」「コオペラチヤ」財産ハ國有財産ニ準シ之ヲ百方保護スヘク之ヲ盗取セルモノハ銃殺シ其財産ヲ沒收シ大赦ノ恩典ヲ及ハサス(二)「コルホズ」ヨリ脱退セシメンカ爲メ「コルホズ」員ニ對シ壓迫脅迫ヲ加フル反社會的「クラキ」、資本主義的分子ニ對シテハ國事犯ト見做シ前項同樣ノ刑ニ處スコト、セリ

右ハ主トシテ本春以來各地ニ起リタル村民ノ穀物倉庫破壞掠奪、收穫期ニハ殆ント常習ノ如キ穀物ノ隱匿燒棄等ニ對スル特別手段ナリトス

四、當局ノ措置實行狀況

收穫上最モ重要ナルハ農業機械ノ供給及修繕ナルカ農業機械ノ供給ニ關シ內閣實行委員會ハ各關係機關代表者ノ報告ヲ聽取シタル上八月十六日付ヲ以テ

(一)「トラクター」ハ六、七兩月中七、八七五臺ノ豫定ニ對シ五〇七一臺、自動車ハ七月中二、二八六臺ノ豫定ニ對シ一、二六一臺ヲ發送シ

(二)農業機械ノ製造狀態ハ幾分改善セルモ甜菜及棉花用「コムバイン」、玉蜀黍「ピツカー」殊ニ不足ナリ

(三)農具修理用鐵材及金屬ノ供給極メテ不良ナルニ付鐵材ハ八月末迄ニ各種計九千噸、九月中三千噸ヲ必ス供給スヘキコト

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

等ヲ決定シタリ

農產物喪失防止策中落穗ハ「オデツサ」市郊外ヲ見ルニ昨年ハ多々アリシモ本年ハ殆ント見當ラサル迄ニ取入レラレ居リ盜難防止ニ付テハ「ウクライナ」村落視察者ノ談ニ依ルニ相當多大ナル水堆及倉庫ニハ銃器ヲ携帶セル番人ヲ附シ警戒嚴重ヲ極メ居レル由ナリ

(二) 收穫ノ實況

△ 刈取

穀物ノ收穫ハ捗々シク進行セス冬蒔及春蒔早熟種ノ刈倒高ハ聯邦農務部ノ公表ニ依レハ左ノ如シ（單位千「ヘクタル」）

		八月一日		九月一日		九月十日	
全聯邦	三二年	三〇、六六四	三六、三 %	六四、六九三	七八、六 %	六九、九九二	八五、〇 %
	三一年	三九、〇二七	四四、一	七五、三五八		—	
內ウクライナ	三二年	八、一九二	五八、〇	一三、五〇二	九三、〇	一三、九〇八	九五、七
	三一年	一三、八一三	七七、一	一八、四一六		—	
北高架索	三二年	四、〇一七	五四、六	六、三〇八	九一、九	六、四六四	九四、二
	三一年	五、八三五	七八、〇	七、七八六		—	
ウオルガ下流地方	三二年	二、九一三	五一、四	四、九四五	八七、六	五、一三九	九一、〇
	三一年	四、一四七	七三、五	七、〇二五		—	

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

中央黑土地方	三二年	四、一一五	六八、五	五、六一六	九五八	五、六六九	九六、七
	三一年	三、三二〇	五三、六	七、五三七		—	
社會部門別							
ソフホズ	三二年	二、二三〇	二七一	五、六八一	七〇、五	六、二二七	七七、三
	三一年	二、一一七		四、九三一		—	
內ゼルノトレスト	三二年	九四四	二三、四	二、四三二	六一、三	—	—
	三一年	一、〇五二		—			
コルホズ	三二年	二二、六七八	三八、六	四五、五七八	七九、七	四九、四八六	八六、五

在オデッサ日本領事館

	三一年	二七八八九		四七〇四〇		一	
內 MTC	三二年	一三、八五五	四八、三	二四、七〇七	八九、一	二六、一三一	九四、二
	三一年	一二、二九八		—		—	
個人	三二年	五七五八	三二、九	一三、四三四	七八、七	一四、二七九	八三、七
	三一年	九〇二一		二三、三八七		—	

其後ノ公表ニ依レハ九月十五日現在全聯邦ニテ七一、七八二千「ヘクタル」即チ全收穫地積ノ八七、二%ヲ刈取リタルカ東部西伯利ハ二八、二%、極東ハ三三、八%ニシテ刈取リ非常ニ長引キ居レリト

在オデッサ日本領事館

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

△ 水堆積

穀物喪失防止ノ爲メ本年殊ニ努力宣傳セル刈倒穀水ノ堆積ノ成積ニ付農務部公表ニ依リ堆穀セラレタル穀物及收穫地積ニ對スル割合ヲ示セハ左ノ如シ（單位千「ヘクタル」）

	七月三十一日		九月一日		九月十日	
全聯邦	五七七五	一八八 %	三九七九四	六一五 %	四八五六九	六九四 %
ウクライナ	六七一	八二	八二七二	六一三	一〇三九〇	七四七
北高架索	四六三	一一五	二九〇〇	四六〇	三四五一	五三四
ウオルガ下流地方	七六〇	二六一	三五六〇	七二〇	四一五六	八〇八
中央黑土地方	九九九	二四三	四六〇〇	八一九	五三三九	九四二

在オデッサ日本領事館

D

堆積ノ成績最惡ナル地方ハ極東ノ三%、東部西伯利ノ一七%、「キルギーズ」ノ二〇、八%トス昨年ニ比シ本年ノ水堆積ハ當局ノ努力ニ依リ大ニ增加セル次第ナルカ昨年九月一日現在堆積ヲ了セル地積ハ三〇、九六九千「ヘクタル」、內「ウクライナ」七、六〇三千「ヘクタル」、北高架索二、七九二千「ヘクタル」ナリ

△ 打穀

收穫穀物ノ打落ノ成績ハ刈取及水堆積ヨリモ更ニ不良ニシテ其進捗ノ度左ノ如シ（單位千「ヘクタル」、%ハ收穫地積ニ對スルモノ）

	七月三十一日		九月一日		九月十日	
全聯邦	二、三一三	七、五 %	一九、四三一	三〇、〇 %	二八、二九二	四〇、四 %
ウクライナ	三九三	四、八	三、八三五	二八、四	六〇二二	四三、三

在オデッサ日本領事館

D

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

北高架索地方	三四四	八六	一八六二	二九五	二六三二	四〇七
ウオルガ下流地方	一五四	五三	九三四	一八九	一二〇一	二三四
中央黑土地方	二五二	六一	二七一八	四八四	三七六七	六六四

打穀成績ノ不良ナルハ極東ノ一七%、西部西伯利ノ一〇八%トス

打穀高ヲ昨年ニ比スルニ昨年九月一日ニ於ケル全聯邦ノ打穀高ハ二八〇七二千「ヘクタール」分即チ三七五%ナリキ同日「ウクライナ」九八四五千「ヘクタール」、北高架索ハ四七五一千「ヘクタール」ナリキ

二、穀物買上

政府ノ穀物買上高ハ昨年及前年ノ實績左ノ數量ナリ（單位千噸）

	一九三〇—三一年	一九三一—二年
全聯邦總計	二〇八八四	二一二三六
コルホズ	七五六一	一四〇八六
個人農家	一二〇五六	五三三三
農民部計	一九六一七	一九四一九
ソフホズ	一二六七	一八一七

本年ノ買上豫定ハ農民ノ自由販賣ノ爲メニシ得ヘキ手持高ヲ多クス

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ル爲メ本年五月六日付政府及黨本部決定ニ依リ農民部ハ昨年ノ買上計畫高ヨリ製粉料現物稅二億六千四百萬布度（四百三十二萬噸餘）ヲ減シタル十一億三百萬布度（千八百八萬噸餘）トシ「ソフホズ」ヨリノ買上高ヲ昨年豫定ノ一億八百萬布度（百七十七萬噸）ヲ一億五千百萬布度（二百四十七萬噸）ニ、卽チ四千三百萬布度（約七十萬噸）ヲ增加スルコトヽシ差引總計十二億五千四百萬布度ヲ一九三三年一月十五日迄ニ買上クルコトヽセリ

七月ノ買上成績ハ同月ノ「プラン」ニ對シ四五、五％ヲ遂行シタルノミニテ其買上量ハ昨年同期ニ對シ半分ナリ地方別ニ付テ見ルニ「ニイジェ、ノウゴロド」及「ウオルガ」中流地方ハ「プラン」ニ對シ一一五、六％ヲ遂行セルモ其他ノ地方ハ一モ「プラン」ヲ遂行セルモ

ノナク主要農耕地方ノ「ウクライナ」ハ二〇、七％、北高架索地方ハ三三、六％ノ最劣等成績ニシテ買上不能高ノ八六％ハ此二地方ノ不成績ニ歸ス而シテ社會部門別ニ付テ見レハ個人農家ハ最惡ニシテ屬TCノ關係スル「コルホズ」ハ五〇、九％、「ソフホズ」ハ三五、二％ナリ

八月ノ穀物買上成績ニ付テハ左ノ如シ

	八月ノ對九月プラン％	三一年	三二年	三一年對年プラン％
全聯邦	六八、〇	三一年	三二年	三一年
ウクライナ	五六、五	九六、六	一五、五	二三、八
北高架索	三二、〇	一〇八、八	一四、七	三二、三
		、、、	一三、七	四〇、七

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

	對九月プラン%	十月一日現在對年プラン%
	三二年	三一年 三二年 三一年
蘇聯邦	八七、六	六八、二 三七、一 四三、七
ウクライナ	七八、二	六二、四 三四、五 四八、三
北高架索	七一、四	五一、五 三一、八 、、、

穀物買上成績ニ付地方別ニスレハ中央黑土地方、「タタリヤ」、「ウオルガ」中流、「ニイジエゴロド」、西部西伯利等中央地方ハ收穫ト共ニ好成績ヲ擧ケ居ルモ南部「ウクライナ」、北高架索、「ウオルガ」下流等最モ主要ナル農耕地方カ他ノ農事ト共ニ成績不良ナリ而シテ東部西伯利、「キルギーズ」及極東等ハ全般ニ渉リ最劣等ナリ「ウクライナ」ニ於ケル豫定實行ノ不能ハ主トシテ各地ニ於テ

其計畫ノ算定妥當ナラサルモノニシテ北高架索地方ハ當事者及其指導當ヲ得サルニ依ルモノナリト謂フ

社會部門別ニ見レハ「コルホズ」殊ニMTC關係ノモノ最高ノ成績ヲ示シ國營事業タル「ソフホズ」ハ個人農家ヨリモ劣等ニシテ優良地方ニ於テモ「ソフホズ」ハ其「プラン」ヲ遂行セス

八、九兩月ノ「プラン」實行率左ノ如シ

	八月	九月	十月一日現在年プラン實行率
各月プラン實行率			三二年 三一年
ソフホズ	五六、〇	四二、九	三一、三 五三、九
ゼルノソフホズ	、、、	四〇、七	、、、 、、、
コルホズ	六七、五	、、、	、、、 、、、

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

内 MTC	六八、〇	一〇五、三
其他	六六、八	一〇八、六
個人農家	五九、七	八二、九
計	六八、〇	八七、六
		三七、一
		四三、七

買上穀物ノ種類別ニ付テハ九月中小麥ハ全聯邦ニテ「プラン」ノ六五、二%、「ライ」麥ハ一一、九%ヲ買上ケタリ

買上穀物ノ外ニ九月ノ「プラン」ハ貸下種子ノ返納ハ四七%、「ガルンツエ」稅八四、二%ナリ

「ウクライナ」ニ於ケル社會部門外八、九月ノ穀物買上ノ「プラン」實行率ハ「ウクライナ」共產黨機關紙所報左ノ如シ

	八月	九月
ソフホズ	六四、六	四六、八
コルホズ	六一、四	九四、一
内 MTC	六五、六	九五、四
個人農家	一八、五	四〇、九
農民部計	五四、八	八〇、八
總計	五六、五	七五、七
一九三一年同期	一〇八、八	六二、四

三、秋期播種

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

本年秋期播種豫定地積ニ付テハ八月十七日付農務部決定ヲ以テ定メラレタルカ右決定ノ重ナルモノ左ノ如シ

一、本年ノ播種計畫（單位千「ヘクタル」）

	一九三二年	一九三一年
小麥	一四、六一〇	一三、〇八六
ライ麥	二五、八二八	二六、〇六二
大麥	五一〇	三五三
工業原料作物（向日葵、球根等）	一、〇〇五	三八四
計	四一、九五三	三九、八八五

二、右ノ部門別

	一九三二年	一九三一年

ソフホズ		五、五〇〇	二、五六五		
コルホズ		二九、一六〇	二六、〇五七		
内 MTC		一七、〇〇〇	一〇、〇二八		
個人農家		九、二九三	一一、二六三		
農民部計		三八、四五三	三七、二〇		
内穀物		三七、四四八	三六、九四七		
三、主要農耕地方ノ計畫					
全聯邦	一四、六一〇	二五、八二八	一、〇〇五	四一、九五三	
ウクライナ	六、五〇〇	四、一〇〇	一三〇	一〇、七三〇	
北高架索地方	三、七六〇	五五〇	六〇	四、四五〇	

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ウオルガ下流地方	五〇〇	二、〇〇〇	五〇	二、五五〇
中央黒土地方	九〇〇	三、〇一〇	四五〇	四、三六〇

四、「ウクライナ」、北高架索及中央黒土地方ノ部門別

	ウクライナ	北高架索	中央黒土	ウオルガ下流地方
ソフホズ	九九一	七五五	二五五	三二八
コルホズ	七八〇〇	三、五五〇	三、〇五〇	二、一六〇
内MTC	六、一〇〇	二、九二五	一、八二五	一、二八〇
個人農家	一、九三九	一四五	一、〇五五	六二
計	一〇、七三〇	四、四五〇	四、三六〇	二、五五〇

五、收穫率向上ノ手段トシテ播種ヲ速ニ終了スヘク其終了期ハ地方ニ依テ異ルモ

在オデッサ日本領事館

中央黒土地方ハ　九月十日

「ウオルガ」下流、「ウクライナ」及北高高架索ノ北部ハ　九月二十日

右ノ南部ハ　十月十日

迄トセリ

△　播種ノ實績

秋期播種ハ一般農業ノ不振ト北方各地方カ降雨ノ爲メ昨年ヨリハ後レ九月一日現在全聯邦ニテ六六三三千「ヘクタル」、「プラン」ノ一五八%ヲ播種セリ昨年同期ニハ一〇、〇九一千「ヘクタル」、卽チ「プラン」ノ二三、五%ノ實績ナリ地方別ニ付テ見ルモ「イワノ、ウオズネセンスク」州ノ外各地方共遲レ「ウクライナ」ハ南部ニ在リ

在オデッサ日本領事館

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

テ播種期モ後ルヽカ九月一日現在ニテ昨年ノ二六四千「ヘクタル」「プラン」ノ二、四%ニ對シ本年ハ八九千「ヘクタル」及〇、八%ナリ農務部ノ公表ニ依レハ十月一日ノ播種地積左ノ如シ

	一九三二年		一九三一年	
	地積	%	地積	%
全聯邦	二六、四七六	六四、七	二九、六五一	六九、〇
ウクライナ	五、〇五五	四七、七	七、三一六	六六、五
北高架索地方	九六八	二二、一	一、〇一四	二二、五
ウオルガ下流地方	一、四五四	六六、一	一、八七五	八二、〇
中央黒土地方	三、七〇五	九四、八	三、七五五	

右ノ如ク本年ノ播種成績ハ昨年ニ比シ不良ニシテ殊ニ南部主要農耕

地方ニ於テ然リトスル處就中「ウクライナ」ハ「トラクター」及馬匹ノ不足ト之カ配分當ヲ得ス當局ハ之ヲ匡正シ得サルニ歸因スル由ナルカ他ノ報道ニ依レハ農具ノ破壞多ク之カ修繕不能ト部分品ノ不足モアリ農業機械修繕ハ八月三十日現在ニテ「トラクター」六五%播種機七六%、「オデッサ」州ニ於テハ使用不能ノ「トラクター」千六十三臺、「キエフ」州ニ於テハ二千五百臺ノ内八百臺アリト右修繕不能ハ主トシテ材料鐵材ノ供給不足ナリ尚最近地方ヨリノ通信ニ依レハ降雨ナク土地硬化シ居リ播起困難ナリト傳フ

十月一日現在全聯邦播種地ノ社會部門別ヲ示セハ左ノ如シ（單位千「ヘクタル」）

	實績	本年豫定	%

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ソフホズ	一、四〇五	三、五〇〇	四〇、〇
内穀物ソフホズ	四六〇	、、、	、、、
コルホズ	一七八〇四	二九、一六〇	六〇、一
内MTC	九、三五三	一七〇〇〇	五五、一
個人農家	七、二六七	九、二九三	七八、二

右ニ依レハ政府ノ保護、機械ノ供給其他ノ特典ヲ享受スルコト最モ少ナキ個人農家ノ成績優秀ニシテ「コルホズ」ニテモMTCノ手ヲ藉ラスシテ自力ヲ以テスルモノハ七〇%弱ノ成績ヲ擧ケ居レリ右ハ政府及黨部カ農業ノ不成績ニ鑑ミ個人農家ヲ從前ノ如ク壓迫セスシテ「コルホズ」商業其他ニ於テ「コルホズ」員ト同樣ノ權利ヲ與フルニ至レル結果實際ノ收入多クナル豫想ノ下ニ其業ニ勉勵スルニ至

レルモノト認ムヘク最近ニ於ケル「コルホズ」員ノ「コルホズ」脱退ノ欲望增加ノ傾向ト共ニ重視スヘキ現象ナリ

「ウクライナ」ニ於ケル秋蒔作物ノ播種終了期ハ聯邦農務部ノ定ニ依レハ十月十日ナリシ處同期日迄ニ播種セル面積ハ七百四十八萬五千「ヘクタル」豫定ノ六六、五%ニシテ昨年同期ヨリ百五十七萬七千「ヘクタル」少ナシ主作物タル小麥ハ五八、一%、「ライ」麥ハ七九、八%ナリ

各州別ニ見レハ「ウインニツア」ノ八五、二%ヲ最高トシ「ハリコフ」「キエフ」「ドネツ」ノ三州ハ平均率ヨリハ良ク其他ハ遙ニ劣リ「モルダビヤ」ノ三〇、八%、「オデッサ」ノ四二%ヲ最下トス

都門別ハ左ノ如シ（十月十日現在、單位千「ヘクタル」）

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

	豫定	實績	%
ソフホズ	九九一	五七六、一	五八、一
コルホズ	七、八〇〇	五、一六五、三	七九、〇
内 MTC	六、一〇〇	三、七〇七、〇	六〇、七
個人農家	一、九三九	一、三〇七、一	六七、四
計	一〇、七三〇	七、〇四八、五	六六、五

右ノ各部門中「ソフホズ」ハ最劣等ノ成績ナリ

「ウクライナ」ノ秋期播種ハ右ノ如ク遅レ豫定ノ計畫遂行不能ニ終ル憾多シ唯「オデッサ」地方ハ寒氣ノ到來未タ例年ヨリ遅キモノアルニ幾分望ヲ嘱シ得ヘキカ「ウクライナ」ニ次ク主要穀物殊ニ小麥耕作地方タル北高架索ニ於テハ聯邦政府所定ノ播種終了期十月十日

現在ニテ百七十五萬四千「ヘクタル」ニシテ昨年同期ノ百五十四萬八千「ヘクタル」ヨリ少シク多キモ「プラン」ノ三八、九%ト云フ不成績ナリ右原因ハ種子ノ不足、「トラクター」及馬匹ノ配布及多數農業生産團體タル「ブリガド」ノ頽廢ニ因ルト云フ

△ 播種ニ關聯スル當局ノ措置

播種及擧起ニ關聯スル當局ノ措置トシテハ「コルホズ」ノ借馬許可ト種子貸下不許可ノ二件ナルカ前者ハ「コルホズ」ニ「トラクター」及馬匹不足ニ對スルモノニシテ後者ハ農民ノ穀物隠匿其他ノ手持品過少ノ口實ニ依ル願出撃退策ニシテ共ニ播種ノ進捗ヲ妨クル重ナル事項ナリ

E-0286
0326
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

●「コルホズ」ノ借馬許可

「コルホズ」ノ事業ハ本春來特ニ面白カラス就中馬匹ハ飼料無キ爲メ斃死シ又ハ屠殺スル處トナリ甚タシク缺乏シ自動車及「トラクター」ノ供給モ豫定ニ及ハス收穫及收穫物搬出ニモ困難ヲ感シ爲メニ農民ノ「コルホズ」脱退ヲ欲スルモノ少ナカラサルヲ以テ目下秋蒔時期ニ際シ之カ匡救ノ必要アリ之ヲ以テ中央執行委員會及內閣ハ九月十一日付決定ヲ以テ「コルホズ」ニ對シ播種、穀物買付及穀物、蔬菜及野菜ノ搬出用トシテ個人農家ノ馬ヲ賃借スルヲ許シ個人農家ニ右貸與ノ「コルホズ」ハ馬匹ヲ正常ナル狀態ニ於テ之ヲ返付スルノ義務ヲ負ハシタリ

●種子貸下不許可

聯邦內閣及黨中央委員會ハ九月二十三日付決定ヲ以テ近來ノ「ソフホズ」及「コルホズ」ニシテ種子貸下ヲ願出ツルモノアルモ本年ノ作柄ハ滿足スヘキモノニシテ「コルホズ」ニ對スル穀物買付案モ既ニ政府ニ於テ減量シアリ之ハ全部遂行シ得ヘキ筈ナルニ付右樣願出ハ之ヲ拒絶シ本年ハ「ソフホズ」ニ對シテモ「コルホズ」ニ對シテモ冬蒔、春蒔共ニ種子貸下ヲ爲サス「コルホズ」MTC及「ソフホズ」ノ長ハ其責任ヲ以テ所定ノ期限ニ來春用ノ種子ヲ貯藏スヘキ旨ヲ命令シタリ

E-0286
0327
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

四、農業政策ニ關スル政府ノ措置

(一)「コルホズ」ノ土地利用恒久性設定

中央執行委員會及內閣ハ九月三日付決定ヲ以テ聯邦重要農業地方ニ於テハ「コレクチビザチヤ」ハ根本的ニハ完了シ從前個人ノ使用セル國有地ノ八割乃至九割ハ其使用スル處トナリ個人經濟ノ弊害タル畑地ノ交錯、遠隔及所々ニ散在スル等ノコト無クナリ將來機械化ヲ基礎トシテ耕作法ノ改良、除草、播種法及施肥法ノ改良ニ依リ斯業ノ充實發達ヲ圖リ得ルニ至レリ

然ルニ「コルホズ」使用ノ土地ヲ「ソフホズ」ニ分割シ地方官憲カ任意ニ增減シ「コルホズ」ヨリ脫退セル者アルトキ其土地ヲ分割シ「コルホズ」間ニ交換スル等ノ事實アルニ顧ミ左ノ諸項ヲ規定スル旨公布セリ

一、各「コルホズ」ノ使用地ハ現在ノ境界トシ一切ノ分割ヲ禁ス

二、土地使用ニ關スル爭議及問題解決ノ爲メ「ライオン」ニ農務課長ヲ長トシMTC長、「ライオン」農業技師及「コルホズ」代表者二名ヨリ成ル「ライオン」土地委員會ヲ設ケ州及共和國ニ同樣委員會ヲ設ク

三、地方官憲ハ「コルホズ」使用地ニ對シ各上級土地委員會ノ特別決定ヲ經ルニアラサレハ之ヲ「ソフホズ」及「コオペラチヤ」ノ

E-0286
0328
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

爲メニ如何ナル分割ヲモ行フコトヲ禁ス

四、「ライオン」官憲ハ「コルホズ」間ノ土地移動ヲナスヲ禁ス「コルホズ」ノ分合ニ依ル境界ノ變更ハ關係「コルホズ」員四分ノ三以上ノ同意ト其都度州又ハ地方土地委員會ノ認可ヲ要ス

五、土地交錯及遠隔ナル故ヲ以テ之カ匡正ノ爲メニスル境界ノ變更及土地ノ交換ハ「ライオン」土地委員會ノ決定ノミニテ之ヲ爲スヲ得

六、「コルホズ」脱退者ノ爲メ「コルホズ」土地使用境界ヲ變更スルヲ得ス右脱退者ニハ農業組合（アルテリ）ノ規約ニ準據シテ空地ヲ分讓スルコトヽスヘシ

七、個人農家ノ加入ニ依ル「コルホズ」土地ノ附加ハ豫メ村「ソウ

エト」ノ定メタル手續ニ依リ個人使用地ヨリスルコト

本法ノ制定ハ地方官憲ノ專恣ヲ制シ「コルホズ」員カ其使用ノ變更ヲ憂フルコトナクシテ充實發達ヲ圖ルヲ趣旨トセルコトハ勿論ナルモ「コルホズ」員ノ脱退ヲ防クコトヲモ目的トセルモノナリ

(二) 收穫率向上方策ニ關スル政府及黨ノ決定

内閣及黨本部ハ九月二十九日付決定ヲ以テ「コレクチビザチヤ」ノ成功ニ依リ主要農耕地方ニ於ケル「コルホズ」農民ハ從前個人農家ノ使用セル土地ノ八、九割ヲ合同シ從前小地區ニシテ遠隔ノ地ニ在リ又ハ相交錯セル耕地ハ一大地域トナリ「ソフホズ」網モ組織セラレ十萬「トラクター」ノ使用ヲ見、全國ノ作付地積ハ戰前ニ比シ三

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

千萬「ヘクタル」ヲ增シ特ニ工業原料作物、牧草等ニ於テ增加シ之ヲ以テ農業向上ノ第一段タル作付地積ノ擴大ハ充分其目的ヲ達シ若シ此上勞力ヲ要スル工業原料作物ノ作付地ヲ引續キ擴大スルニ於テハ勞力及牽引力ニ過重ノ負擔ヲナサシメ耕作ノ質ヲ不良ナラシメ收穫率ノ低下ヲ來スコト、ナルヘク今ヤ耕地ノ擴大ヨリ耕作法ノ改良收穫率ノ增加ニ轉換スヘキ時期ナリトス而シテ大規模ノ社會主義的經營ハ個人農家ニ不可能ナル收穫ヲ得ルコト充分ニ可能ナル趣ヲ以テ左ノ通リ決定セル旨ヲ公布セリ

一、三三年ノ計畫ニ於テハ工業原料作物ノ作付地擴張ハ中止シ主トシテ小麥、大麥、燕麥等穀物ノミノ耕地擴張ヲ妥當トス

二、三三年春期播種面積ハ九千七百五十萬「ヘクタル」トシ內百萬

「ヘクタル」ハ新規增加ノモノ、百五十萬「ヘクタル」ハ他ノ作物耕地ヲ減シ計二百五十萬「ヘクタル」ノ小麥、大麥、燕麥ノ作付地ヲ增加ス

三、聯邦農務部ハ播種方法、撰種等ニ付、農務部及重工業部ハ工業原料作物等耕作機械化實現ニ必要ナル機械ノ數、化學肥料殊ニ窒素肥料ノ製造增加高ニ付、MTCノ農事指導任務發揮方法等ニ付夫々所定ノ期間內ニ立案スヘキコト等

作付地積ハ一九三一年迄ハ年々增加シ穀物ノ作付地積モ同樣增加セリ然レ共其增加ノ程度ハ一九三一年ノ總面積ノ外五年計畫ノ豫定ニ及ハス殊ニ穀物ニ於テ然リトス卽チ國民經濟調査中央廳ノ統計ニ依ルニ左ノ如シ（單位百萬「ヘクタル」）

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

實際作付地積對「プラン」

	全體	穀物	全體	穀物
一九二九年	一二〇、三	九一、八	九七、三	九六、九
一九三〇年	一二二、五	九八、九	九四、四	九四、〇
一九三一年	一三六、七	一〇四、八	一〇〇、九	九六、五

而シテ穀物作付地積ノ比重ハ年々低下シツヽアルカ左ノ如シ

	一九二九年	一九三〇年	一九三一年
全聯邦	八一、三	八〇、五	七六、六
ロシヤ	八二、九	八二、四	七八、八
内 中央黒土地方	七八、五	七八、七	七三、五
ウオルガ中流地方	八九、六	八九、九	八三、三

ウオルガ下流地方	八七、五	八八、〇	八三、八
北高架索地方	七八、八	七七、六	七五、二
ウクライナ	七九、〇	七八、三	七三、六

本年春期播種地積ハ七月一日現在ニテ昨年ヨリ減少シ穀物作付地ノ比重ハ全聯邦ニテ六四%ナリ（尤モ秋期播種ハ穀物ニ限ルヲ以テ全年トシテハ穀物ノ比重ヲ増加スルコトヽナル）

斯ル情勢ニ加フルニ右政府及黨本部決定中ニ示セル缺點卽チ耕作方法ノ不良化、勞力及牽引力ノ減少等ノ結果タル收穫率ノ減少ハ益々顯著ニシテ穀物買付及秋蒔成績ニ現ハレタル穀物ノ減收益々甚タシタナレル結果本決定ノ公布ヲ見タルモノナリ

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

(三) 穀物及養畜「ソフホズ」人民委員部ノ新設

十月一日付聯邦中央執行委員會ノ決定ニ依リ現農務部所管ヨリ穀物及養畜「ソフホズ」ヲ獨立シ特別ノ一人民委員部ヲ新設シ關係合同ヲ改組シ農務部ハ主トシテ「コルホズ」ニ關スル事項ヲ管轄スルコトシ「ユルキン」ヲ新設部ノ人民委員ニ任命シタリ

右官制ノ改正ニ際シ「プラウダ」ハ社説ニ左ノ意味ヲ記載セリ

穀物「ソフホズ」ハ二百二十四ケ所、其所屬耕地積千二百萬「ヘクタル」、所有「トラクター」五十七萬五千馬力ニ及ヒ其生產穀物ノ政府ニ賣上ケタル高ハ一九二九年六七百萬布度（十萬噸）、一九三一年ニハ五千萬布度（八十萬噸）、本年ノ豫定高一億一千萬布度（

百八十萬噸）ニ上リ養畜「ソフホズ」ノ數ハ養牛四百三十二ケ所、養羊百五十ケ所、養豚八百四十六ケ所アリ（政府報告ニ依レハ其所有家畜牛二百五十萬頭、豚八十六萬頭、羊四百七十萬頭）其農場ノ數ハ充分ナルカ其事業ノ質ハ不良ニシテ穀物「ソフホズ」ニ付テハ昨秋政府及黨本部決定ノ指摘セル缺點卽チ收穫ノ際ノ喪失多ク穀量ノ檢査ヲ缺キ耕作法不良、機械化ノ利用不充分ナル等ハ依然匡正セラレス「コムバイン」ノ如キ修繕不良、取扱ノ亂暴ノ爲メ破損續出シ畑ニハ雜草繁殖シ爲メニ「コンバイン」ノ使用ヲ妨ケ簡單ナル收穫器具ノ準備ヲ缺キタル爲メ穀物ノ喪失ヲ增加シ事務ノ管理、指導ノ不備、頻繁ナル勞働者ノ移動アリ

養畜「ソフホズ」ニ付テハ本年四月一日付政府及黨本部並ニ農務部

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

決定ヲ以テ指摘セル生産過程ノ不經濟的且不整備、家畜ノ飼養法ノ不良、斃死及不妊率ノ増加等ハ右決定ニ依リ當事者ノ更迭、農場組織ノ分割對策ヲ講シ幾分改善セルモ根本的進歩無ク斃死ハ絶エス交尾事業ハ不振ナル實狀ニ在ル處穀物ニ付テハ收穫率向上ニ關スル方策ニ關聯シ穀物農業振興ヲ圖リ畜產ニ付テハ當面ノ問題トシテ家畜ノ冬籠準備ノ必要アルヲ以テ今回官制ヲ改正シ穀物及養畜「ソフホズ」部ヲ新設シ農務部ハ「コルホズ」農民部ニ專念セシムルコト、セル次第ナリト

尙前項收穫成績ニ示ス如ク穀物「ソフホズ」ノ刈入ハ個人農家ニサヘ劣レルカ如キ事情ハ注意スヘキモノナリ

(四) 高等共產農科大學ノ開設

本件ニ關シ共產黨中央委員會ハ九月二十一日付ヲ以テ左ノ通リ決定セリ

一、從來ノ共產大學ヲ高等共產大學ニ組織ス

二、本校ノ目的ハ農業機械貸下所（MTC）及穀物、養畜、棉花、亜麻、茶等ノ「ソフホズ」及「コルホズ」ノ指導者及「ライオン」ノ黨部及「ソウエト」機關ノ事務員ヲ養成スルニ在リ

三、本校ヲ二科ニ分チ(一)第一科ハMTC、「ソフホズ」及「コルホズ」ノ指導員ヲ養成シ修業年限ヲ二年トシ(二)第二科ハ黨及「ソウエト」機關ノ事務員ヲ養成シ修業年限ヲ三年トシ第一科ノ學科

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ニ「レニズム」ノ理論ヲ修メシム

四、學生ノ修學時間ノ二割ハ「ソフホズ」「コルホズ」及MTCニ於テ實習セシム

五、入學資格ハ第一科ハ黨籍ニ在ルコト一年以上ノ共産黨員、二年以上在籍ノ青年團員及「ソフホズ」「コルホズ」及MTCニ二年以上在職セルモノニシテ初等學校及初等黨學校卒業程度ノモノ、第二科ハ黨籍ニ在ルコト二年及二年以上下級黨及「ソウエト」ノ指導者トシテ從事セルモノニシテ高等黨學校及五年制學校卒業程度ノ學力アルモノトス

六、本校ハ一九三三年一月一日迄ニ改織始業ス

七、共産大學ノ改織ト共ニ(一)北高架索地方ニ於テハ「クラスノダル」

ユ(二)「ウクライナ」ニ於テハ「オデッサ」「カメネツポドリスク」ニ(三)「カザクスタン」ニ於テハ「セミパラチンスク」「アクモリンスク」ニ(四)「タムボフ」(五)「オレンブルグ」ニ本校ヲ開設ス

八、一九三二ー三年ノ入學生ハ一萬二千人トス

九、本校學生ニハ月額二百五十留ノ奬學金ヲ交付ス

七、本校ニ學力不足ノ(者ノ)爲メニ四ケ月ノ講習ヲ開設ス

十、本校指導ノ爲メ本部ニ黨本部書記「ボスツイシエフ」、農務部長「ヤコブレフ」及農務部「マルケウイチ」ノ三名ヨリ成ル委員會ヲ設ク

（以上）

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第二　工業生産

工業ノ基本部門タル採炭ハ三月ノ五百八十一萬三千噸ヲ頂點トシ毎月下降シ八月ニハ四百五十萬二千噸トナレリ九月ハ少シク增加セルモ月「プラン」ノ實行率ハ七月ノセ六%ヨリ九月ニハ六五%弱ニ下リ一月以降採炭高累計ハ昨年同期ニ比シ一八、五%ノ增加ニシテ本年統制數字豫定ノ五八%增ニ及ハス此形勢ニテハ五年計畫末年度豫定ニ對スル增率三二%モ實行困難ナラン

石油ノ採收ハ今春迄ハ最高ノ計畫實行率ヲ保持セルカ六月以來頓ニ退勢ヲ示シ九月ニハ「プラン」ノ六九、三%ニ下リ九ケ月間ノ採油高ハ前年同期ニ比シ〇、六%增ニテ豫定ノ一九%增ハ到底不可能ナリ

銑鐵ノ製煉高ハ六月以來每月減退シ來レルモ各月「プラン」ノ八割近タヲ實行シ九ケ月間ニ昨年同期ニ比シ二八%ノ增加アリ他ノ主要工業ニ比シ比較的良好ナリトス製鋼高ハ九月ニ於テハ八月ヨリ一一%ノ增產ヲ見タルモ各月ノ「プラン」實行ハ七割前後ニシテ九ケ月間ニ昨年同期ニ比シ七、三%增加セルノミ

機械類ノ製造ハ從來相當ノ成績ヲ擧ケ居レルカ第三期ノ成績ニ付テハ新聞雜誌ニ記載セラルヽモノ甚タ少ナク其全般ヲ知リ難キモ「トラクタール」ハ第一及二期ニ比シ減少シ「ハリコフ」工場ニテハ「ラ

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ジエター」ノ不足アリ材料及部分品ノ不足ト相俟テ一層製作ヲ不便ナラシメタリ自動車ハ「ヤロスラブ」工場ハ成績思ハシカラサルモ他ハ益々發展シツヽアリ

輕工業ノ生産モ日用品增加ノ必要ノ叫ハル、ニ不拘發展セス綿布及毛織物ハ本期豫定ノ八割、「メリヤス」類ハ六割、製靴ハ七割臺ニシテ九ケ月累計ハ同期「プラン」ノ六割臺ナリ

食品工業ニ於テ鑛詰ハ豫定ノ五割臺ニシテ製鹽サヘ不振ニシテ砂糖モ十月十日甜作業開始セル工場數ハ四割ニシテ原料甜菜ノ搬入無キ爲メ作業スル能ハサル由ナリ

「ソ」聯邦ニ於ケル各般ノ産業ハ從來ノ例ニ依レハ豫定ノ八割以上ヲ實行スルニ於テハ先ツ好成績ト稱スヘキモ右ノ如ク基本的部門ノ

生産カ七割乃至六割ナルハ如何ニモ不振ト云ハサルヘカラス

右ノ對策トシテ石油ニ付テハ八月勞働國防會議、石炭ニ付テハ九月十六日付共産黨本部、鐵鋼業ニ付テハ七月八日付重工業部參與會議及十月二日付ノ黨本部總會、日用品製造ニ付テハ十月一日ノ黨本部總會ノ決定等ヲ以テ夫々方法ヲ講スルコト、シタルカ豫定計畫實行不能ノ原因中機械ノ破損及其利用不充分ナルコト建設カ餘リ多方面ニ大規模ニ行ハレ材料、技術ノ不足ニ依リ完成セルモノ少ナク勞働者ノ技術的技能低ク其生活狀態ノ不良ナル爲メ能率ヲ發揮シ得サル等ニ歸スル處彩炭及製鐵增加策ニ於テハ今更ニ機械係其他熟練工ノ養成及復習ノ必要ヲ指摘セル特ニ注意ニ値スヘシ

而シテ日用品增産手段トシテ産業組合ノ原料仕入、製品販賣ヲ著シ

E-0286
0336
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

タ自由ナラシメタルコトハ「コルホズ」商業許可ト共ニ人民ノ「イニチヤチーフ」奬勵法トシテ顯著ナル措置ナリ

△ 國營工業ノ生産高

聯邦國民經濟調査中央廳ノ公表セル統計ハ八月分迄公表アリタルカ右ニ依レハ關係工業四部ノ生産高ハ本期七月分ハ二十億八千萬留ニシテ前月ヨリ一割餘ノ減少ヲナシ本年毎月中最下位ニ在リタルカ八月ハ一、八%ヲ增加シ一月ヨリ八月ニ至ル累計額ハ前年同期ニ比シ一四、九%ヲ增シタリ

其内生産手段ヲ製造スル工業ナルA類ハ七月八月共前月ニ比シ減退シ消費物品製造工業タルB類ハ五月以降逐月減退シ八月ニ入リ反撥

シ七月ヨリ一割餘增産セルカ其生産高ハ六月ノ夫ニ及ハス八ケ月累計額ハ前年同期ニ比シ僅ニ六、四%ノ增加ナリ

所管人民委員部別ニ見レハ重工業部所管ハ七、八兩月共前月ニ比シ減少シ本年中最モ不成績ナリシ二月ニ近クナリ昨年八月ヨリモ少ナシ

林業部所管ハ七、八月共漸減シ輕工業部及供給部所管ハ五月以來毎月漸減シタルモ八月ニ至リ反轉シテ增加セルモ前年同期ニ比シ生産減少セリ

右統計ヲ掲クルニ左ノ如シ

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

	七月			八月			一—八月累計		
	生産高	対前月%	対前年同期%	生産高	対前月%	対前年同期%	生産高	対前年同期%	
A類	一、三〇三、二	九六、三	一一九、三	一、二五四、九	一〇七、七		一〇、八七一、九	一二二、一	
B類	七七七、一	八〇、四	九〇、六	八七六、三	八六、二		八、〇五九、六	一〇六、四	
計	二、〇八〇、三	八九、六	一〇四、七	二、一三一、二	九七、七		一八、九三一、五	一一四、九	
重工業部	一、一五二、九	九七、〇	一一八、〇	一、一二一、一	一一〇、一		九、一八〇、二	一二五、一	
林業部	一三三、九	九三、〇	九八、七	一一九、二	九四、五		一、五二〇、〇	一〇九、二	
輕工業部	五四八、七	七九、七	九七、二	五七七、五	八八、三		五、三五六、一	一〇九、一	
供給部	二四四、八	八一、九	七八、九	三一三、四	八一、七		二、八七五、二	一〇一、三	

九月ハ大體ニ於テ八月ヨリ増産ナリ

在オデッサ日本領事館

6112

D

一、石炭

第三期ニ於ケル「ソ」聯邦各炭坑ノ採炭高左ノ如シ（単位千噸）

	採炭高	一日平均	對プラン%	對前年同期%
七月	四、八一七、一	一五三、九	七六、〇	一〇九、八
八月	四、五〇二、二	一四五、三	六八、八	一〇三、七
九月	四、五六六、二	一五二、二	六四、七	一〇二、四

在オデッサ日本領事館

6113

D

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第三期計	一三、八八五、五	—	六九、〇	一〇四、六
一月以降累計	四六、八一三、二	—	—	一一八、五

各月ノ採炭高ハ絶對數ニ於テハ三月ノ五百八十一萬三千噸ヲ頂點トシ一日平均高ニ於テハ一月ノ十九萬五千五百噸ヲ頂上トシテ爾後一月モ反撥スルコトナク逐月漸減シ「プラン」ノ實行程度モ同様ニ漸減ノ一路ヲ辿リツヽアリ

而シテ各炭坑中全國採炭高ノ六割ヲ占ムル「ドンバス」(北高架索ヲ含ム)ハ「プラン」ノ實行成績ニ於テハ「クズバス」ニ次キ第二位ヲ占ムルカ其成績左ノ如シ(單位千噸)

	採炭高	一日平均	對プラン %	對前年同期 %
七月	三、三六六、五	一〇五、八	七七、五	一〇七、一

八月	三、一六二、八	六九、四	一〇二、二
九月	三、二一七、五	一〇七、三	七二、五	九九、二
第三期計	九、七四六、八	—	七三、〇	一〇三、〇
一月以降累計	三三、〇五〇、〇	—	—	一〇二、六

其他ノ炭坑ハ概レモ不成績ニシテ第三期ノ豫定ヲ半分モ實行シ得サルモノアリ殊ニ當局カ最モ努力シ多額ノ資金ヲ投シタル東方諸炭坑ノ成績甚タ不良ナリ重工業部機關新聞所報ニ依レハ其成績左ノ如シ

第三期九ケ月累計

	對プラン %	對前年同期 %
モスクワ	五五、三	九九、七	一二〇、一
ウラル	五四、〇	八六、六	一一三、五

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

クズバス	七九、〇	一二四、五	一四三、九
東部西伯利	六三、〇		一一七、五
極東	四八、二		一二〇、八
カラガンダ	四六、八	一七八、七	三〇〇、〇
中亞	六三、〇	一一四、五	一一三、〇

右不成績ノ原因ハ上半期ニ於ケル同樣諸原因カ深刻トナリタルモノナリ「ドンバス」ニ於ケル機械掘ニ依ル採炭高ハ五二、四％ニシテ機械力ノ利用最モ振ハサルヲ示ス

△「ドンバス」石炭業ニ關スル黨本部決議

共產黨中央委員會（以下黨本部）ハ「ドンバス」ニ於ケル採炭成績

ノ不良ナルニ鑑ミ九月十六日付ノ決定ヲ以テ右ノ不成績ノ結果燃料ノ「バランス」ヲ緊張セシメ重要工業ノ豫定計畫遂行ヲ危クスルモノトナシ(一)其原因ハ昨年七月五日及八月十五日付本部ノ決定ニ依ル機械化ノ充實、建設工事、勞働組織、經濟的技術的指導、專門家ノ充實、勞働者ノ文化的生活狀態ノ改善、供給及黨部一般指導等カ實行セラレス又斷續的ニシテ組織的ナラサルモノアルヲ以テ右實行ニ付關係各部ハ二ケ月每ニ報告ヲ提出シ(二)文字アル熟練職工及下級指導者ノ技術的再養成及教習ヲ最大必要事ト認メ(イ)各坑ニ碎炭機械係、電氣係其他ノ復習ノ爲メニ六ケ月ノ夜間講習ヲ開催シ(ロ)右樣機械係養成ノ爲メ各炭坑事務所ニ一ケ年ノ學校ヲ開設シ又(ハ)本年第四期以降「デシヤトニキ」ヲ鑛山職工（マステル）ノ復習ヲ開始シ二

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年間ニ完了シ一九三三年中ニ竪坑半數ニ右「マステル」ヲ配置スル樣ニシ(二)學校卒業ノ技師技手ハ原則トシテ三年間義務的ニ竪坑ノ生產事務ニ勤續セシムルコト、シ尙(三)「ドネツ」州黨支部ニ第一書記及供給事務書記ヲ派遣シ州「ソウエト」執行委員會長ヲ交迭セリ・

二、石油

原油ノ採收高ハ六月退勢ヲ示シ本期ニ入リ逐月減退シ各月「プラン」ノ實行率ハ七月ノ七九、二%ヨリ九月ニハ六九、三%ニ降レリ九ケ月ノ採油累計ハ一六、五七四千噸ニシテ前年同期ノ一六、四七一千噸ニ比シ値ニ九萬七千噸增ニシテ本年統制數字豫定ノ一九%增加ノ計畫ハ

實現不可能ト定マレリ

第三期各月ノ採油量ヲ示セハ左ノ如シ(單位千噸及プラン實行率)

	全聯邦		アズネフチ		グロズネフチ	
		%		%		%
七月	一、八四六	七九、二	一、〇四九	七七、三	六七五	八七、一
八月	一、八二〇	七五、二	九九五	七一、八		八四、三
九月	一、六六二	六九、三	九二三	六六、一		八〇、四
第五期計	五、三二八		二、九六七			
一月以降累計	一六、五七四		九二八二			
前年同期	一六、四七一					

實行率ヲ示セハ左ノ如シ

「アズネフチ」及「グロズネフチ」以外ノ各合同ノ各月「プラン」

E-0286
0341
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

	七月	八月	九月
マイコプ	五八、〇%	五三、一%	四七、五%
エムバ	七六、九	七〇、九	六七、八
中亞	三七、四	四六、一	
トルクメン	五九、〇	三六、七	
サハリン	七一、〇	七一、二	

△ 石油業發展對策

勞働國防會議ハ八月中過去七ケ月ノ石油採收及鑿井成績ヲ檢討シ採油計畫ノ遂行未能ノ主タル原因ハ油井ノ不生產的停止ト新井ノ完成遲延、設備ノ製造修繕ノ遲延、勞働組織及勞働ノ條件不良ト獨立會

計主義ノ不徹底特ニ鑿井事業及機械製造所ノ設立等ニ關スル一九三〇年十一月十五日ノ黨本部ノ決定カ實行サレサルコトヲ認メ豫定計畫ノ遂行並ニ將來ノ發達ノ爲メ左ノ諸項ニ付對策ヲ講シタリ

一、重工業部ハ「コムプレス」ノ利用ヲ圖リ喞筒及「コムプレス」ノ經費節減ノ爲メ本年末迄ニ油井二百以上ヲ鐵管無シ又ハ「ポンプ」式ニ、百以上ヲ單管「リフト」ニ變更シ

二、鑿井中及停止中ノ六百五十ノ新井ヲ本年中ニ作業セシムル爲メ各種鐵管ノ供給ヲ圖ルコト

三、鑿井設備殊ニ「ハル」式鎖ノ製造ヲ促進スルコト

四、第四期ニ於テ「ゴスプラン」ハ石油業用自動車及「トラクター」ノ供給方法ヲ講スルコト

E-0286
0342
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

五、勞働者ノ生活狀態改善ニ付テハ

(一)「グロズヌイ」ノ電車及下水工事完成ノ爲メ第四期中百六十萬留ヲ支出ス

(二)石油工業地ノ郊外農業ノ爲メ二百萬留ヲ支出ス

(三)消費組合ハ郊外農業ノ爲メ石油工業地ニ三MTCヲ開設シ明春ヨリ作業ス

(四)「バクウ」「グロズヌイ」及「マイコプ」ノ工場炊事場ノ建設ヲ本年中ニ完了シ

(五)其他建築材料ノ供給、野菜ノ供給ニ地方官憲ニ責任ヲ負ハシムル等

三、泥炭

泥炭ノ採掘ハ八月末ヲ以テ終了セル處其季節開始以來ノ採掘高ハ一三、九五五千噸ニシテ「プラン」ノ七四、六%ナリ

其内「ソユズトルフ」系各「トラスト」ノ採收高ハ一千八十萬噸ニシテ昨年ノ八百四十萬噸ニ比シ增加セルモ「プラン」實行率ハ七六、六%ナリ

E-0286
0343
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

四、鐵鋼業

銑鐵ノ製煉高ハ五月ノ五十五萬四千噸ヲ最高トシ六月ニハ減退セルカ本期ニ入リ極少ノ增加ヲ示シタルモ八月ニハ再ヒ減少シ九月ニハ增加セルカ各月共豫定「プラン」ニハ二割以上ノ不足ナリ

製鋼高ハ五月ノ四十九萬七千噸ヨリ毎月漸減シ豫定ノ六割臺ナリシカ九月ニハ少シク增加セリ

第三期ノ鐵鋼製煉高ハ「ザインダストリアリザチヤ」所報ニ依レハ銑鐵一、五六二、七六三噸、鋼一、三五一、五三八噸ニシテ第二期ニ對シ減

產ニテ九八、四%及八八、五%ナリ

第三期各月ノ鐵鋼製煉高左ノ如シ

	銑鐵				鋼			
	製煉高				製煉高			
	千噸	一日平均	對「プラン」%	對前年同期%	千噸	一日平均	對「プラン」%	對前年同期%
七月	五二二、二	一六八	八〇、九	一三〇、二	四四〇、七	一四、二	六九、三	一〇四、五
八月	五〇二、〇	一六、二	七三、九		四一七、〇	一三、四	六五、三	
九月	五四二、一	一八、〇	八〇、一	一三三、六	四六二、八	一五、四	七六、一	
第三期計	一、五六六、三	—	—	一二九、二	一、三五一、五	—	—	一〇六、六
一月以降累計	四、五四七、六	—	—	一二八、一	四、四〇三、二	—	—	一〇七、三

E-0286
0344
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

壓延鋼材ハ一月以降累計生産高三、一六二、〇〇〇噸ニシテ前年同期ノ二、九五八、五〇〇噸ニ比シ六、九%ノ増産ナリ

重ナル合同別ノ生産成績ヲ示セハ左ノ如シ（%）

	七月	九月	第三期計
●銑鐵			
スタリ	八三、六	八二、一	九〇、三
ドネプロスタリ	九二、〇	八一、〇	一一八、〇
ワストコスタリ	七〇、五	七五、〇	一〇〇、〇
●鋼			以下
スタリ	七八、一	七八、六	八八、八
ドネプロスタリ	七三、〇	七九、九	一〇五、三
ワストコスタリ	五九、〇	七〇、六	一〇〇、〇

右ノ如ク南露ノ二合同ハ銑鐵ノ製造高ニ於テ第二期ヨリ漸次下降シ「ウラル」ハ九月ニ入リ少シク恢復セリ

鋼ノ製造高ハ九月ニ入リ孰レモ少シク恢復シ殊ニ「ウラル」ニ於テ然ルモノアルカ第三期ハ第二期ヨリモ減産ナリ

△ 黒色金屬業ニ關スル黨本部總會ノ決議

黨本部總會ハ十月二日「オルジョニキゼ」及「ルズタク」ノ報告ヲ聽取シ左記要領ノ決議ヲナセリ

一、第十六回黨大會ハ黒金屬業ノ發展ヲ必要トシタル處爾來短期間

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ニ大成功ヲ遂ケタリ

(一) 「コークス」業ヲ創業シ「コークス」爐十七「バタレイ」其能力四百萬噸ヲ新設シ六「バタレイ」百七十萬噸分ハ近ク作業ヲ開始セントス

(二) 南方現在工場ニ於テハ吹氣方面ヲ全部更新シ多數熔鑛爐ヲ改造シ其能力ヲ增加シ「マケエフカ」「ゼルジンカ」「ケルチ」等ニ强力ナル熔鑛爐ヲ新造作業シ居リ「ウオロシロフ」工場ニ於テ近ク作業開始セントス「マケエフカ」ニ於ケル百萬噸ノ能力ヲ有スル「ソウエト」初メテノ「ブルウミング」及「ゼルジンカ」ニ於ケル第二ハ目下据付中ナリ中央ニ於テハ「コソゴル」ノ熔鑛爐、「ウイクスン」ノ製鋼爐ハ近ク作業開始スヘク「

エレクトロスタリ」ハ大改造中、「赤十月」ノ改造ハ完成ニ近ク「ウラル」ニ於テハ多數工場ヲ特殊鋼製造工場ニ改造ヲ開始セリ

「マグニトゴルスク」「クズネツタ」「ノウオタギル」「ザポロジスタリ」「アゾフスタリ」「クリウオイログ」「ツウラ」「リペツ」等ノ新築ヲ始メ「マグニトゴルスタ」及「スタリンスク」ニ於テハ一部熔鑛爐ノ作業ヲ始メ他ハ据付中ナリ

右ノ如ク第十六回黨大會以來八熔鑛爐ヲ改造シ十二基ノ內本年中ニ九基ヲ新造シ十六基ハ建造中ナリ而シテ幾多ノ鐵管製造部ヲ設ケタリ

自動車、「トラクター」、航空機、器械製造用ノ特殊鋼、「ク

E-0286
0346
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ロームエツケル」「ウオルフラム」、速切鋼、「ステインレス」耐熱耐酸「ボールベアリング」「マグニト」「アンチマグニト」等ノ諸鋼其他ノ特殊鐵鋼ノ大量生産ヲ初メ本年ハ一九三一年ノ三十三萬噸、一九二八ー九年度ノ十萬噸ニ對シ五十三萬噸ノ特殊鋼ヲ製造スヘシ

黑金ノ生產ハ本年過去八ケ月間ニ前年同期ニ比シ二二%、內銑鐵二八%、鋼八%、壓延鋼材九%ヲ增加セリ

三、然レトモ第十七回黨協議會ノ認可セル一九三二年ノ豫定計畫タル銑鐵九百萬噸、鋼九百五十萬噸、壓延鋼材六百六十萬噸ノ「プラン」ハ遂行セス之カ爲メニ機械製造ノ發達ヲ局限シ運輸及農業ノ建設改造ヲ阻止シ殊ニ鋼及壓延鋼材ノ製造不成績ニシテ是等缺

陷ハ絕對ニ忍ヒ難キモノナリ

三、本夏ノ黑金業ノ不成績ノ原因ハ工場管理、合同及重工業部等ノ各方面ノ指導宜シカラス各工場ニ於ケル黨務及職業組合事務不充分ニシテ勞働紀律弛廢シ社會主義的競爭衰退シ勞働者ノ生活狀態ニ對スル注意薄弱トナリ又工場內運輸困難、材料ノ供給不良ナリシ等ナリ

依テ製鐵鋼工場ノ事業ヲ改善シ製煉ヲ增加シ一九三三年ノ生產及建設計畫ヲ絕對遂行センカ爲メ左ノ通リ決定ス

一、重工業部ハ現存ノ生產及勞働ノ組織上ノ缺陷除去ニ注意シ就中左ノ諸項ヲ實行スヘシ

イ 舊工場及現存設備ノ利用ヲ圖リ

E-0286
0347
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ロ 舊工場及機械ノ合理化ヲ圖リ缺點ヲ匡正シ豫備品ヲ利用シ一九三三、四兩年中ニ基本的部分ノ機械化ヲ完了シ

ハ 製鋼及壓延等特ニ遲レ居ル方面ニ對シ耐火材料、燃料、機械器具、豫備品ノ供給ノ圓滑及部分的改造ヲ圖リ

ニ 人及書類ヲ以テ技術的敎導ヲ行ヒ職工及技術員ノ再養成ヲナシ

ホ 機械ノ破損ヲ防ク爲メ計畫的豫行修繕ヲ施シ豫備品ヲ取揃ヘ勞働紀律ヲ嚴ニシ手入ヲナサシメ

ヘ 新工場ノ新機械ニ習熟セシムルコトニ組織的計畫的ニ努力シ

ト 新機械ニ對シテハ豫メ充分ニ熟練職工及技師ヲ附シ

チ 工場長ハ企業ノ實際指導ヲ爲シ各部及各機械ノ事業ヲ仔細ニ

檢見シ其業ヲ助成スヘク

リ 技術者就中直接機械ヲ指導スルモノヲ優遇シ

ヌ 供給上ニ付石灰、耐火、燃炭、運炭鑛業等ヲ石炭業ニ準シ

ル 製鐵業用ノ住宅ハ一九三三年ニ百八十萬方米ヲ建築スル等シ

ヲ 組織部ハ製鐵業ニ關ケル黨務及職業組合事務ノ方策ヲ立案スヘシ

三、交通部ハ材料ノ運送ヲ圓滑ナラシメ第一次運送品トシテ毎期月日等ノ「プラン」ヲ定メ現有自働荷卸車ヲ金屬運送用トスヘシ

四、「ウラル」諸工場ニ對スル木材供給極メテ不良ナルニ付重工業部及「ウラル」州黨支部ハ政府所定ノ方策ヲ履行シ十一月一日迄ニ二ケ月分ノ薪炭ヲ供給スヘシ林業「ソフホズ」ヲ炭燒部共ニ林

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

業部ヨリ「ワストコスタリ」（製鐵合同）ニ移管スルヲ必要ト認ム

五、「ザポロジスタリ」「エレクトロスタリ」其他ノ特殊鋼製造工場ノ新築工事ヲ促進スルコト

六、製鐵工場用設備品ノ製造ハ不足ナルニ付設計組織ヲ強化シ一九三三年ニハ「ウラル」及新設「クラマトルスク」工場ノ本設備品製出ニ當リ其生産能力ヲ發揮シ得ル如クシ人民委員部ノ許可ナクシテ他ノ註文ヲ受ケサル樣ニシ尚他機械ノ製造ヲナサヽル樣ニスヘシ

七、供給部及「ツエントロソユズ」ハ製鐵業從業者ニ對スル供給ノ改善ヲ圖ルヘシ

五、銅

製銅業ハ近來大ニ不振ナルカ製銅業ニ對スル投資額ハ左ノ如シ

	百萬留
一九二七―八年度	一六、六
一九二八―九年度	一八、五
一九二九―三〇年度及特別期	四五、二
一九三一年	七六、二

即チ右四年三ケ月間ニ一億五千六百五十萬留ニシテ一九三二年ニハ二億一千二百萬留ノ豫定ナルニ付五年計畫ニ依ル分ハ約三億五千萬

E-0286
0349
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

留ナリ

投資額ハ年々其増加ノ額ヲ増大スル處銅ノ製煉高ハ之ニ副ハサルモノアリ

豫定

	製煉高	粗銅	再製銅	計
一九二八ー九年度	三〇、二	三二、九	八、八	四一、八
一九二九ー三〇年度	五〇、〇	三四、一	一二、七	四六、八
一九三一年	一四六、〇	三一、一	一七、三	四八、四

一九三二年ノ豫定ハ九萬噸ナル處八ケ月間ニ粗銅二一、三五五噸、再製銅一、四一七噸計約三萬二千七百噸ニシテ年「プラン」ノ三六、四%ナリ其内粗銅ハ年「プラン」ノ二八、五%、再製銅七八、七%ニシテ

再製銅ハ豫定以上ノ成績ヲ示シツヽアリ

右製銅高ハ五年計畫ニ示セル最少限豫定ニ比スルニ初メ二年ハ豫定ヲ超過セルモ一九三一年ハ一九二九ー三〇年度ノ五萬四千噸ニ及ハス一九三二年ハ統制數字ノ豫定ハ五年計畫末年度ノ最大限豫定ノ八萬四千七百噸（最少限ハ五九、五〇〇噸）ヨリ多量ナルカ今日ノ狀態ニテハ之ヲ遂行スルコト困難ナリトス

本年ノ銅製煉一日平均高ハ第一期四、二七六噸、第二期四、二〇五噸、第三期ノ七、八兩月ハ三、五五五噸ニシテ漸減シツヽアリ

重ナル製銅所ノ狀況左ノ如シ

(一) 「クラスノウラル」製銅所

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

一九二七―八年度起工、製銅年産額二萬噸、工費五千五百萬留ノ豫定ノ處工費ハ本年初迄ニ四千八百萬留ヲ支出シ尚年末迄ニ一千萬留ヲ要スベシ昨年末一部作業ヲ開始シ同年製造豫定九〇五一噸ニ對シ七二七噸ヲ製造セリ本年ハ豫定ノ二二―二三%ヲ製出スルニ止マラン

(二)「カラタ、コムビナト」(ウラル)

一九二八―九年度改造ニ着手シ既ニ二千萬留ヲ支出シ本年中ニ一千萬留ノ工費ヲ要スルカ其成績不良本年ハ二萬噸ノ製造能力アルニ不拘一萬二、三千噸ノ製造ニ止マラン

(三) 其他

「バレキル」「コルサクパイ」ノ兩「コムビナト」及後高架索製銅「シンヂケト」ニ對シ既ニ投資トシテ三千五百萬留ヲ支出シ本年中右ト同額ヲ支出セントス然ルニ其製銅高左ノ通リ(單位千噸)

	バレキル	コルサクパイ	後高架索
一九三〇年	三、四	六、一	二、八
一九三一年	三、一	五、四	〃
一九三二年上半期	一、二	二、二	二、二
一九三二年年プラン	六、五	一〇、三	四、一

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

六、機械製造

(一) 「トラクター」及自動車

「トラクター」及自動車共原料部分品ノ不足其他ノ原因ニテ豫定ノ製造計畫ハ實行シ能ハサルカ第三期中ノ製出高左ノ如シ（「ブラウダ」掲載日計表ニ依ル）

	七月	八月	九月	計
トラクター				
ハリコフ工場	一、三四三	九九〇	一、二七一	三、五一四
スタリングラド工場	二、四三五	二、七二五	二、〇〇四	七、一六四
自動車				
モスクワ工場	一、〇九五	一、三一〇	一、四二二	三、八二七
エイジエゴロド工場	七六四	八四〇	一、〇七〇	二、六七四

右「ハリコフ」工場製造「トラクター」ノ内「ラジエーター」無キモノ七月八八一臺、八月五八五臺ヲ含ム處九月ニハ右表記載製造高ノ外最ニ「ラジエーター」無キ儘計算セルモノ一、五二五臺ニ對シ之ヲ据付ケタリ

「ニイジエゴロド」製造自動車中制動機及鎖無キモノ七月一二〇臺有リ

「ハリコフ」工場ノ「トラクター」、「ニイジエゴロド」ノ自動車

E-0286
0352
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

製造ハ計畫製造能力ノ五分ノ一ニシテ事業頗ル思ハシカラス「ヤロスラブ」自動車工場ハ本年第一期四三五臺、第二期三一三臺ヲ製造セルカ本期ニ入リテ成績不良ニテ八月ニハ一七〇臺ノ豫定ニ對シ六五臺ヲ製作シタリ

(二) 電氣工業

電氣工業ノ生産高ハ一月以降累計五億五千三百九十二萬留ニシテ前年同期ニ比シ二九、七%ノ增産ナリ内九月ノ成績ハ月「プラン」ノ八四%ナリ右ノ内照明器ノ生産ハ前年同期ニ比シ四九、二%、電機ハ三六、一%ノ增産ナリ

豫定計畫ノ製造ヲナシ得サルモノニ電氣機關車ハ九ケ月間ニ百五十

臺ノ豫定ニ對シ六十七臺、「モーター」機關車用「モーター」ハ二十六臺ノ代リニ十臺、同機關車用補助機械ハ九十箇ノ代リニ九月初メヲ四箇ヲ製造セルノミニシテ其他製鐵用及發電所用及自動車「トラクター」用ノ電氣設備ノ製作ハ豫定ニ達セス

七、輕工業及食品工業

(一) 輕工業

輕工業ノ生産ハ豫定計畫ニハ不足ナルモ本期ニ入リ少シク好轉セリ

其主要ナルモノハ綿業ナルカ原料棉花ハ既ニ外國輸入ニ俟タス自國

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

産ヲ以テ自立スルニ至レル趣ナルモ其量ハ未タ不足ニシテ品質ハ頗ル粗悪ニシテ豫想ノ絲ヲ出サス從テ綿布ハ計畫ノ如キ數量ヲ製出シ難タ其品質粗悪ニシテ不合格頗ル多シ

毛織物ハ本期豫定ノ八割餘ヲ製出セルカ不合格品ノ割合多シト

第三期ニ於ケル輕工業主要製品ノ生産高及「プラン」ノ實行率左ノ如シ

	單位	七月	八月	九月
紡績	千噸	九五八	二一〇	二三、九
		%	八四、九	七八、一
綿布	百萬米	一〇一、二	一六七〇	一九一、六
			八五五	八九、五
毛織物	百萬米	八五、四	七六	七七
			八一、七	八三、九
メリヤス靴下	百萬足	一	一〇〇	一一、三
			六〇、二	六一、八

同	肌衣	百萬枚	〇、八	四六、七	一、三、
同	上衣	百萬枚	〇、四	六〇、一	〇、五
製	靴	百萬足	七八、〇	五六	六、一
				七二、六	七九、一

一月以降九ケ月ノ生産高累計ノ「プラン」及前年同期ニ對スル%ヲ示セハ左ノ如シ

	對プラン%	對前年同期%
綿布	六七、〇	一〇八、〇
毛織物	六九、〇	
靴	六一、〇	

即チ綿布、毛織物、製靴等ハ本期ニ入リ多少好轉セリト謂フヘシ

然レトモ輕工業主要製品ノ八、九兩月分ヲ前年同期ノ生産高ト比較

E-0286
0354
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

スレハ執レモ減産ニシテ左ノ如シ

	單位	一九三二年	一九三一年
紡績	千噸	四四、九	五〇、六
綿布	百萬米	三五八、六	三八六、七
毛織物	同	一五、四	二四、〇
メリヤス靴下	百萬足	二一、三	二一、三
同 肌衣上衣	百萬枚	三、〇	三、四
靴	百萬足	一一、七	一三、八

(二) 食品工業

食品工業ノ生産高ハ本期ニ入リ更ニ低下シ就中罐詰及製鹽不振ニシテ食料ノ缺乏ヲ益々激化セリ

△ 罐詰

本年ノ罐詰製造計畫ハ各種製品合計十億箇ナル處八月ノ「プラン」ハ四二、三%ヲ實行シ一月以降八ケ月間ノ製造實績ハ豫定ノ五四、八%ニシテ其中「ソユズコンセルブ」所屬各工場ノ製造額ノ割合ハ野菜類ハ三三、七%、「トマト」四五、二%、「コンデンスミルク」二八、三%ニシテ八月中ノ野菜果物罐詰ハ「プラン」ノ六七%ナリ魚類、肉類等ノ罐詰モ非常ニ少ナシ九月ノ各種罐詰ハ豫定ノ五八、八%卽チ八月ノ八〇、五%ヲ製造セリ

斯業ニ於ケル勞働力ハ過剩ナルカ勞働者一人當リノ生産高ハ八ケ月

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

間ニテ「ブラン」ノ六五九%ニシテ生産原價ハ騰貴シタリ

右不成績ノ原因ハ勞働者ノ出入頻繁ニシテ原料ノ供給悪シク就中鑛ノ供給不良ナリ硝子器ノ如キモ政府及黨ノ指令ニ依リ本年中四工場ヲ新築シ四億箇製造ノ豫定ナル處現狀ニテハ年末迄ニ五、六千萬箇程度ノ製造ニ止マルヘシ

△ 食品工場ノ建築

昨年九月二十九日付内閣及黨本部ノ決定ニ依リ今明兩年中ニ肉類「コムビナト」五十七ケ所、沿岸漁場三十六ケ所、水上漁工場二十三ケ所、果實野菜鑵詰工場三十六ケ所建築ノ豫定ニテ其中本年中竣工計畫ノモノ野菜鑵詰工場十二ケ所、年産能力三億五百萬箇ニ對シ三工場ハ年末ニ竣工スヘキモ作業開始ハ覺束ナク野菜果物鑵詰ノ五工

場及煉乳ノ二工場ハ工事遲延セリ肉類「コムビナト」ハ本年中四ケ所ヲ完成スヘキ筈ノ處工事遲レタリ工場ノ設備品製造モ遲レ今迄ニ工場ニ引渡シタルモノハ約三分ノ一ナリ

△ 製糖工場

製糖工場百八十一工場中十月一日迄ニ百五十工場ノ作業ヲ開始スヘキ豫定ノ處作業ヲ開始セル工場ハ九月四日ヲ最初トシ十月一日迄ニ四十九工場、同月十日迄ニ七十八工場トナレルカ昨年十月一日ニハ既ニ百五十工場ニ達シタリ「ウクライナ」ノ諸工場ハ「ウオロネジトラスト」ヨリ不成績ナリ

右主タル原因ハ原料甜菜ノ搬入思ハシカラサル爲メナリ

甜菜ノ植付ハ相當ノ成績ナリシカ其收穫搬入ハ順調ニ進マス本年ノ

E-0286
0356
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

製糖モ又多クヲ期待シ得ヘカラス

八、産業組合ノ改組ニ關スル政府措置

産業組合ノ生産上ノ自發心ヲ普及セシメ且其日用品製造力ヲ最大限擴張スル爲メ中央執行委員會及內閣ハ七月二十三日付決定ヲ以テ産業組合ノ事業及組織形態改正ニ關スル件ヲ定メタルカ其要領左ノ如シ

一、産業組合ハ自己製造用ノ(一)棉花、羊毛、繭及皮革以外ノ各種原料(二)各種廢物屑物ヲ自由ニ隨處ニ於テ仕入ヲナシ且國營工場ヨリ

製造ニ適スル廢物屑物ヲ特別契約ニ依リ買入ヲナスコトヲ得

二、産業組合ハ其製品ヲ市場、國營及「コオペラチーフ」商店ニ於テ直接ニ販賣スルコトヲ得

註文ハ必ス中央機關ヲ經由スルヘキ禁令ヲ廢シ其代リニ國營「コオペラチーフ」機關及企業ハ直接原料ヲ供給シテ製造方ヲ産業組合ニ註文スルコトヲ得

三、産業組合製日用品ノ賣價ハ自ラ仕入レタル原料ヨリ製造スルモノハ市場値段ニ依リ、國營及「コオペラチーフ」機關ヨリ國定價格ニ依リ供給シタル原料ニ依ルモノハ註文主側トノ契約ニ依リ、計量手續ニ依リ供給セル原料ニ依ルモノニ付テハ商品及商業統制委員會ニ於テ定ム

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

四、産業組合ニ對スル銀行金融ハ地方的ニ地方銀行ヨリ直接組合ニ對シ行ヒ

上級機關ノ維持費及各種文化其他一般組合費トシテノ義務的納金制ハ廢止シ之ヲ組合代表會議ニ於テ定メ一般ニ組合ノ納金ヲ最少限ニ輕減スル如ク處置シ

註文者側ヨリ銀行監督ノ下ニ前渡金制度ヲ許ス

五、産業組合ノ組織的機關ニ付テハ

(一) 初級營業環ハ生産又ハ配給組合ノ「アルテリ」ニシテ

(二) 第二ノ環ハ數ケ「ライオン」ヲ包含スル集又州ノ專門部別聯合トス聯合機關ハ下級ノ組合ニ對シ器具原料等ノ供給ニ當リ國家機關ニ對シ下級組合ヲ代表ス

(三) 聯邦共和國及家内工業ノ發達著シキ州並ニ聯邦ニハ産業組合評議會ヲ設ケ組織檢査及地方「ソウエト」及聯邦政府機關ニ對シ組合ヲ代表シ直接營業ニ當ラサルモノトス

(四) 食品工業組合、重工業組合及産業組合ノ全聯邦聯合機關及其部門的合同ヲ廢シ林業組合ノ聯邦合同タル「フセコプロムレスソユズ」及金屬家内工業ノ共和國合同タル「メタルプロムソユズ」ハ存置ス

(五) 産業組合評議會ニ組合ノ專門部等ノ科ヲ設クル等機構ヲ複雜ニスルコトハ絶對ニ許サス

六、地方官憲及組合指導機關ハ産業組合製品ヲ賣買スル個人商人ヲ排除シ組合ノ原料入手、製品販賣ニ保護ヲ加フヘシ

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

産業組合ノ基本生産ハ日用品タルヘキモノナルニ依リ一九三三年ニハ産業組合生産總高ノ中七割ハ日用品トスル樣計畫ヲ立ツヘシ關係機關及組合指導機關ハ産業組合製品ヲ外國輸出ニ適スル樣ニシ又醫療器械類及組合自身ノ業務上必要ノ器具ヲ製造スル樣ニシ組合間ノ連絡ヲ圖ルヘシ

尙内閣ハ七月二十六日付決定ヲ以テ全部「コルホズ」ニ加入セル「ライオン」ニ於ケル産業組合ノ事業ニ關スル件ヲ定メ農業及産業ノ混合副業組合ヲ組織シ就中「コルホズ」員ハ獨立ノ組合ヲ作ル樣ニスルコトヽセリ

九、日用品生産ニ關スル黨決議

共産黨中央委員會總會ハ「ビヤタコフ」「リユビモフ」「ワシレフスキイ」及「アンチポフ」ノ報告ヲ聽取シ十月一日決議ヲ採擇セルカ其摘譯左ノ如シ

一

黨本部ハ曩ニ日用品ノ製造及商品回轉ノ速度ヲ增加シ其市場外需要

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ヲ削減シ以テ日用品ノ増加ヲ圖ルヲ緊急ト認メ決定ヲ爲シタル結果市場外需要ノ日用品削減ノ具體案ヲ定メ各關係部所管工業及産業組合ノ生産計畫ヲ増大シ各企業ニ廢物利用部ヲ設ケ重工業部系統ニ日用品ノ特別部ヲ設ケ其生産計畫實施檢査ノ機關ヲモ設ケタリ

本部ノ勞農民ノ物質的狀態改善及都市村落間ノ接觸ヲ固クスヘキ決定ニ依リ蕪及經濟機關ニ對シ第一義ノ政治的意義ヲ有スル任務ヲ負ハシメタリ

二

然ルニ輕工業部、重工業部及産業組合ノ右決定實行ハ尙未タ不充分ナリ

(一) 輕工業部

日用品ノ八ケ月間生産計畫ハ八八、四%ヲ實行シタルノミニシテ七、八兩月ハ更ニ不良ナリ重要品ニ付テハ綿布ハ九一、七%、毛織物一〇〇、二%、「メリヤス」類九三%、硝子製品七二、四%、陶磁器八四、二%ヲ實行セリ右ニ依リ市場出廻高ハ上半期中前年同期ニ比シ二八、五%ノ増加アリト雖モ本年ノ供給計畫實行未能ハ大ナリ

製品ノ品質ハ粗惡ニシテ不合格品甚タ多シ

(二) 重工業部

イ 重ナル大衆市場向製品ノ製造計畫實行ノ割合左ノ如シ（單位百萬個）

	年豫定額	八ケ月製造高	對八ケ月プラン%
金屬製品	四七四	二一五	八一、〇

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ゴム工業	二四三	一三一	九四〇
工業用繊物（クレ㡊ンカ等）	二九八	一六四	一〇八〇
石油（燈油）（千噸）	一、八〇〇	八八五	一

ロ 七、八兩月ノ生産計畫實行度ハ激シク下降シ年「プラン」實行不能ノ憾アリ

ハ 右數的豫定計畫ノ實行不能ト共ニ品質粗惡、原料ノ使用不當、品揃不良ニシテ市場ノ需要ニ副ハサルモノアリ

(三) 産業組合

本年上半期ノ生産豫定ハ九三、三%ヲ實行シタルモ其自發心極メテ薄弱ニシテ殊ニ地方的原料ノ使用少ナク品質又粗惡ニシテ其品揃ハ村

落ノ需要ニ適應セス

三

最近ニ於ケル日用品ノ製造高ニ關スル黨決定ヲ實行シ得サルノ原因ハ主トシテ左ノ如シ

一、日用品製造ノ重要性ニ對スル認識不足

二、生産組織ノ不良及其指導不足

三、勞働組織ノ不良、主要職業ノ賃銀制ノ不當、輕工業勞働者ノ生活狀態ノ不良、勞働紀律ノ弛緩及能率ノ下降

四、各種原料ノ不足ト原料ノ濫用

五、屑物出量大ニシテ之カ利用不充分

E-0286
0361
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

六、代用品及新原料ノ使用遲延

七、現有設備ノ利用不充分

八、産業組合ノ地方産原料使用、屑物不合格品ノ利用不充分

四

右ノ缺點除去並ニ所定「プログラム」遂行ノ爲メ左ノ通リ決定ス

一、重工業部、輕工業部及産業組合ハ日用品製造ニ一轉機ヲ劃スル爲メ管理部「トラスト」及企業ニ其任務遂行上ノ個人的責任制ヲ設クヘシ

二、勞働國防會議及「ゴスプラン」ハ其「プラン」立案ニ當リ日用品ノ爲メニ特別ノ「プログラム」ヲ作リ尙特別ニ日用品用原料ノ高ヲ定ムヘシ

三、日用品製造調査（統計）機關ヲ夫々各機關ニ設クヘシ

四、各新聞紙ハ日用品ノ製造計畫實行狀況ヲ記載スヘシ

五、輕工業

イ、輕工業部ハ代用品ノ增産、新原料ノ應用ヲ擴大スヘシ（模造皮、「カトニン」等）

ロ、農産原料ノ買上ニハ絶大ノ努力ヲナシ統制外商品、廢物利用製品等相當商品ヲ以テ遭遇商業ヲ實驗スヘシ

ハ、織物業ニ於ケル「フンクシオンナヤ」方法ヲ廢止スヘシ

六、重工業

金屬製品ノ品質改善ノ爲メ重工業部ニ職業組合、「ツエントロソユズ」及監察部參加ノ日用金屬製品品質部ヲ設クヘシ

E-0286

0362

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

七、産業組合

イ、特ニ村落ニ直接農民ニ日用品販賣ノ「アルテリ」小賣業ヲ擴張スヘシ

ロ、組合外家内工業者ノ製品利用ノ爲メ「コオペラチーフ」配給機關ヲ通シテ其製品ヲ買付ケ原料及半製品ヲ配給シ又契約ニ依リ製造ノ爲メ原料ヲ交付スルコト

ハ、關係各部ハ本年ノ産業組合豫定原料供給計畫ヲ完全ニ實行シ且産業組合ニ對シ屑物及不合格品ヲ工場ヨリ直接賣却シ得ル樣ニスヘシ

ニ、買付委員會ハ産業組合ノ爲メニ農産原料（皮革、羊毛、苧麻等）買付ノ地域ヲ與フヘシ

八、品質改善ノ爲メ製造日用品ニハ强制的檢査票貼用ノ制ヲ實施スヘシ

九、勞働國防會議ハ一ケ月以内ニ左ノ件ヲ審議決定スヘシ

輕工業ニ付テハ(イ)今明年豫定ノ原料燃料設備供給案(ロ)輕工業用機械製造場設立案(ハ)輕工業部系統ニ修繕工場、機械豫備品部分品製造所創立(ニ)住宅建築擴張案(ホ)勞働者供給用ノ郊外及工場附屬農業及自己買付案(ヘ)輕工業技術家養成案(ト)鑛業發展案

重工業ニ付テハ(イ)明年度日用品製造用金屬供給案(ロ)日用品製造勞働者事務員技術員ニ對スル日用品供給及住宅改善案

産業組合ニ付テハ(イ)一九三三年度不足原料供給案(ロ)品質改善策(ハ)家内工業者ノ生活改善策

（以下略）

E-0286
0363
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第三　運輸

一、鐵道運輸

鐵道輸送ハ本期ニ入リ秋冬貨物ノ出盛トナリタルニ不拘豫定ノ輸送ヲナスコト能ハサルノミナラス前年同期ニ比シ絶對的ニ減少ヲ見タリ

右狀況測定標準トシテ一日平均貨物積出貨車數ヲ示セハ左ノ如シ

	貨車數	對プラン%	對前年同期%
上半期	五二、三〇〇	八五、五	一一三、七
六月	五三、四九六	八八、〇	九七、八
七月	四九、一四六	七八、〇	九三、七
八月	四八、九〇〇	〃〃〃	九六、〇
九月	五二、一六〇	八二、六	九七、一

本年中鐵道輸送成績ノ最良ナリシ月ハ五月ナルカ爾來每月低下シ九月ニ至リ幾分カ良クナレルモ大勢ハ惡化ノ傾向ニ在リ

貨物積出不能貨車數ノ內鐵道ノ責任ニ依ルモノハ五月ハ三〇、七%ニシテ八萬八千車、六月ハ四六、八%ニテ十七萬七千車、七月二十三萬五千車、八月二十九萬一千車ニ增加セリ

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

右ハ車輛利用ノ方法ヲ誤リ且車輛ノ狀態不良ナルヲ主タル原因トス

機關車ノ狀態モ不良トナリ一晝夜平均走行里數ハ五月ノ一七四四粁ヨリ八月ニハ一六八粁トナリ定時ニ列車ニ連結シ得サリシ件數ハ一日平均五月ノ三五件ハ八月四六件九月上半月ノ五二件トナリ途中ニ於ケル機關車破損ハ九月一日乃至二十三日ノ間ニ八二三件アリ旅客列車用機關車不足シ貨物列車用機關車ヲ旅客列車ニ使用セル件數ハ六月五二八回、七月六六五回、八月八九〇回ナリト云フ

貨車ノ走行里數ハ八月九九粁ヨリ九月ニ一〇三粁ニ上レリ

三、河川水運

各河川水運ハ本年六千二百萬噸運送計畫ノ處八月一日現在ノ成績ハ本年「プラン」ノ四二%、九月一日五二%、十月一日五九、二%ニシテ九月中ノ成績ハ同月豫定ノ六一%ナリ

右成績ハ昨年十月一日現在運送量三千六百萬噸、年「プラン」ノ五〇、七%ニ比シテ運送量ニ於テ約百萬噸卽チ三%ノ增加ナリ

運送貨物ノ大宗タル石油ハ十月十日現在ニテ「アストラハン」ニ到着セルモノ六百萬噸、年「プラン」ノ八四%ナルニ同地ヨリ「ウオルガ」河上流ニ發送セルモノ五百萬噸、年「プラン」ノ七四、五%ニシテ河川運河ニ依リ「レニングラド」ニ到達セル石油ハ十月一日現在二十七萬噸、「プラン」ノ六割、「モスクワ」ニ到達セルモノ五九%ナリト

E-0286
0365
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

九月ヨリ出盛期トナレル穀物ハ九月ノ豫定九十萬五千噸ニ對シ實際運送セルモノ四五%ナリ

右原因ハ減水、船舶ノ破損及勞働組織ノ不良等ニ歸ス

在オデッサ日本領事館

116

E-0286

0366

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第四　商業

一、村落ニ對スル商品供給

村落ニ對スル日用品ノ供給ハ最近著シク改善シタルモ未タ計畫ニハ遠ク及ハス幾多ノ缺陥錯誤アル處八月二十一日發表セラレタル七月ニ於ケル村落ヘノ商品發送ニ關スル黨指令違反ニ關スル黨中央統制委員會及聯邦監察委員會ノ決定ニ依ルニ(一)「メリヤス」製品ハ七月

ノ豫定計畫ノ六二%ヲ發送セルカ其内地方ニ依リ大差アリ穀物農産物買付ニ必要アル村落ニハ少ナク市部ニハ多ク送付シ例ヘバ中央黑土地方市部ニハ豫定ノ一一二%ヲ、村落ニハ四二%ヲ、北高架索地方ノ村落ニハ一九二%ヲ送付シ「モスクワ、メリヤストラスト」ハ生産計畫ハ六五%ナルニ相「シヨール」、小兒帽子ノ如キ都市型ノ製品ハ計畫ヲ超過シ(二)石油販賣合同ハ燈油供給計畫ノ六七%ヲ實行セルカ二割臺ノ地方アリ(三)「ツエントロソユズ」ノ茶業部ハ七月中第三期村落供給豫定ノ二四七%ヲ供給セルカ北高架索ニハ僅ニ六三%「ウクライナ」ニ一七%、「ウオルガ」下流地方ニハ六三%ヲ、「ソフホズ」ニ對シテハ一一%ヲ供給セルコトヲ指摘セリ

又九月八日「ツエントロソユズ」幹部會擴大會議ニ於ケル報告ニ依

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

レハ其所管ニ係ル村落ニ對スル商品ノ發送ハ第三期ハ第二期ニ比シ一二二%ヲ增加セルカ其到達計畫ハ遂行セラレス中央黑土地方ニ於テハ都市ハ一一二、七%ナルニ村落ハ七三、四%、「ウオルガ」下流地方ハ九四%及六三%、北高架索ハ一三〇%及六三、三%、「ウクライナ」ハ九二%及八八%等ノ如ク開キアリ

八月二旬ニ於テモ右狀態ハ變化ナク貨物ノ回轉遲延シ七月中「ウクライナ」ニ於テ卸賣部ニ到着セル商品ハ三千五百萬留ノ處同處ヨリ地方ニ發送セル高ハ二千五百萬留ニシテ北高架索ニ於テハ卸賣機關ノ受入レタル綿製品千七百萬留ニ對シ村落ハ五百萬留ヲ受ケタルノミ

「ライオン」卸賣機關ニ停滯セル商品モ多ク逆送セラル、商品モ少

ナカラス「オデッサ」州ニ於テハ短期間ニ六百六十四車ノ織物、既製服及靴アリ其貨樹五十萬留ニ達シ「キエフ」州ニ於テハ二卸賣機關ノミニテ三割ノ逆送アリ

鐵道水運ノ運送モ實ニ長引キ其他品質ノ粗惡ナルコト、品揃ノ不良ナルコト夥多ナリ

九月ニハ著シク改善シ村落向一般商品ハ北高架索ハ八〇、一%、「ウクライナ」ハ八四、四%、「ウオルガ」下流地方ハ七七、九%ノ發送アリタリト

「コルホズ」商業ノ發達ハ未タ不完充分ナルカ其賣場及張店ハ相當增加シ七月一日現在ノ三、三九〇ケ所ハ八月二十日ニハ一、一〇〇ケ所トナレリ「ウクライナ」ニ於テハ殊ニ未發達ナルカ「ウクライナ

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

」「コオペラチフ」聯合ハ本年中「コルホズ、バザル」三六九ケ所各種商店五千ケ所開設ノ豫定ニ對シ九月迄ニ「バザル」二六七ケ所商店二、一三一ケ所ヲ開キタルノミ其内「オデッサ」州ニ於テハ三、八〇〇「コルホズ」ノ内「コルホズ」商業ニ參加セルモノ九六六、「ハリコフ」州ニ於テハ一一%ハ商業ニ參加シ「ドネツ」州ハ殊ニ遲レ居レリ

右商業缺陥ニ關シテハ共産黨本部總會ノ決議中ニ適切ニ指摘シアルヲ以テ次ニ之ヲ掲クヘシ

二、「ソウエト」商業ニ關スル黨ノ決議

共産黨本部總會ハ「ソウエト」商業ニ關スル供給部長「ミコヤン」「ツエントロソユズ」本部長「ゼレンスキイ」及「アンツエロウイチ」ノ報告ヲ聽取シ九月二十九日付ヲ以テ決議ヲナセルカ其大要左ノ如シ

一、小賣商業網擴張ニ關スル黨本部ノ決定ニ依リ供給部ハ本年七ケ月間ニ商店七、一〇〇ケ所内市部二、〇八〇ケ所、村落四、〇八〇ケ所並ニ賣場及張店五、九〇〇ケ所ヲ開設シ六七%ヲ增加シ商店二六、三〇〇ケ所、賣場及張店九千ケ所トナレリ

「ツエントロソユズ」ハ商店一三、一〇〇ケ所内都市五、四〇〇ケ所村落七、七〇〇ケ所、賣場及張店二二、五〇〇ケ所ヲ開設シ二割ヲ增加シ商店一六、七七〇〇ケ所、賣場及張店四九、七〇〇ケ所トナレリ

E-0286
0369
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

二、卸賣「バアザ」ハ供給部ハ五月ヨリ八月迄ニ州「バアザ」六三五ケ所、內西伯利、中亞等遠隔ノ地方ニ九六ケ所ヲ、「ツエントロソユズ」ハ三八ケ所ヲ、數「ライオン」ニ跨ル「バアザ」ハ供給部七四ケ所、「ツエントロソユズ」二八八ケ所ヲ開設セリ

之等卸賣機關ノ數ハ著シク普及セルカ其業務振ハ單ナル倉庫、發送所トナリ屢々機械的ニ配分シ品種ヲ强制的ニシ自己系統ノ利益ノミヲ追ヒツヽアリ而シテ「モスクワ」「レニングラド」其他ノ都市ニ於テ工場ヨリ直接小賣店ニ運送シ得ヘキ商品モ卸賣所ニ送付シ配給ノ不當ト共ニ商品ノ逆送及停滯ヲ來サシムルモノアリ

三、商業機關ノ業務ニハ未タ缺陷アリ配給宜シキヲ得サル爲メアル地ニハ貨物停滯シアル地ニハ不足スルカ如キ又紀律弛緩シ價格政

策ヲ紊リ營業管理費ヲ膨脹セシメ横領費消事件等ヲ起シツヽアリ

四、工業製品ノ市場外需要者向ノモノヲ減シテ之ヲ以テ市場向殊ニ村落向トスル黨本部ノ決定及市場外需要者ニ對シ供給スル工業製品ノ優先的發送手續ノ禁止ニ關スル決定ハ五月以降三ケ月ニ實行セラレ市場殊ニ村落向多クナレリ

十二種ノ統制商品ノ供給計畫ヲ當初ノ十五億留ヨリ十八億留ニ增加スヘキ決定ハ上半期ニ於テハ實行薄弱ナリシカ最近進展シ村落ニ對スル供給ノ年「プラン」ハ實行セラルヘキ域ニ向ヘリ但シ商品ノ到達ノ時期ヲ誤リ各地方特殊事情ヲ考慮セサル等ノ缺點アリ

本年ノ農產物買付用商品ノ豫約制減ハ本部決定ニ反シ極メテ少ナク殊ニ村落「コオペラチーフ」商店ニ於テハ地方黨及「ソウエト

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

「」機關ノ指令ニ依リ商品ヲ販賣セシシテ特定ノ需要者ニ豫約配分スルモノ少ナカラス

右ニ依リ此缺點ヲ是正シ「ソウエト」商業ノ發達ヲ圖ル爲メ左ノ通リ決定ス

一、都市商業ハ將來勞働者集中地及新築地ニ集中シ一九三三年ノ國民經濟計畫中ニ商店建築案ヲ豫定ス

二、商品委員會ハ卸賣「バアザ」ノ分布案ヲ作成シ商品ヲシテ急速ニ需要者ノ手ニ到達セシムル方法ヲ講シ勞働國防會議ハ鐵道水運ニ依ル商品ノ速達法ヲ圖ルコト

三、卸賣機關ハ下級「コオペラチヤ」ヨリ日用品ノ半分以上ハ豫メ

註文ヲ取付ケ下級商品ハ卸賣機關ニ於テ直接品物ヲ選擇シ得ル樣ニシ商品ノ品質檢査票貼付制度トシ工業ハ粗惡ナル商品ノ返付取換ヲ受付クル樣ニスルコト

四、營業管理費引下ヲ實施スルコト

五、各商業關係機關及地方當局ハ大衆向殊ニ村落向商品ヲ優先的ニ送付方ヲ勵行シ村落向商品ノ都市ニ停滯スルヲ許容セサル樣ニスルコト

六、「コルホズ」商業ノ發達不充分ナルニ付地方當局ハ之ヲ助成シ投機者及仲買人ヲ取締リ物價引下ヲ抑止スルコト

七、農產物ノ地方的仕入ノ不充分ナルニ鑑ミ地方當局及賣上委員會供給部及「ツエントロソユズ」ハ左ノ手段ヲ講スルコト

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

イ　農産物ノ買上ヲ奥地ニ於テモ廣ク實施スルコト

ロ　「クライ」執行委員會ハ「コンウエンシオン、ビューロー」ノ價格政策實行ニ付指導法ヲ改善スルコト

ハ　工場機關專屬配給所及大工場食堂ヲシテ「コルホズ」及農村消費組合ト出來得ル限リ長期ノ契約ニ依リ其仕入ニ有効ナル條件ヲ設クルコト

ニ　下級ノ買上機關ヲ充實シ其職員ヲ撰擇奬勵スルコト

八、市住民ノ食料品供給改善ノ爲メ地方的仕入ヲ增加シ「コルホズ」「バザル」ヲ發展セシメ工場企業ニ自用ノ食料「バアザ」（野菜畑畜産場、養鳥魚場等）ヲ設ケシムルコト

之ト共ニ食堂、炊事場及「パン」燒場ノ增築ヲ要ス

九、村落ニ於ケル商品供給ノ基本タル農村消費組合ノ組織的事業的充實ヲ圖ル爲メ同組合役員ノ選擧制度及組合員ニ對スル業務報告制度ヲ鞏固ニシ職員ノ待遇ヲ改善シ組合ノ株金ノ半分及毎月ノ收入金ノ二割以上ヲ其仕入資金トシテ其手許ニ置クコトヽス「クライ」機關ハ右教師ヲ設クルコト

七、商業機關ニ嚴選セル黨員及青年團員ヲ補充シ從事員ノ移動ヲ排シ其俸給ハ賣上高ニ應シ割增ヲ附加シ勤務年數及勤怠ニ依ル加俸制度ヲ定メ商業機關ノ業務モ重要ナルモノタラシム

六、消費組合ノ管理費ヲ減少シ內部資源及自己蓄積ヲ動員シ其一切ノ納金ヲ削減シテ以テ財政ヲ充實スルヲ要ス

高、「コオペラチーフ」ニ「ネプマン」的精神ヲ有スルモノ有リ價

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

格ノ釣上ケ、横領費消等アルカ之カ防止ハ黨及「ソウエト」機關ノ根本的任務トス

六、地方監察及統制機關ハ本件ニ關スル本部決定ノ實施ニ付援助監督スルコト

重工業ノ發達及農産物ノ增加ハ輕工業及食品工業ヲ尙一層急速ニ發展セシメ日用品ノ製造增加ヲ爲シ得ヘキ筈ナルカ其製品ハ增大シツツアル需要ヲ未タ遠ク滿足セシムルヲ得サル狀態ニ在ルヲ以テ日用品ノ製造增進ハ剩下ノ經濟的政治的最重要問題ナリトス

勞農民ノ接洽及其物質的狀態改善ノ爲メニハ「ソウエト」商業就中「コルホズ」商業ノ發展ヲ必要トス

依テ本部總會ハ我黨ニ反スル左派ノ「ソウエト」商業ニ對スル認識

不足ヲ反撥シ都市村落間ノ社會主義的生産接洽上右翼ハ「オポルトニズム」ニ對スル我黨ノ勝利ハ都市村落ノ商業接洽ヲ鞏固ニスヘキ任務ヲ負ハシムルモノナルコトヲ指摘スルモノニシテ政治部決定ニ基タ日用品製造擴張モ重大ナル意義ヲ有ス

「ソウエト」商業就中「コルホズ」商業ノ發展ハ右翼「オポルトニスト」及「クラキ」分子カ解釋セント努ル如キ市場固有ノ天性ヲ解放シ「キツプマン」投機ヲ許容スルヲ意味セサルノミナラス反對ニ個人商人及仲買人ノ根絶ヲ要求スルモノナリトス

三、外國貿易

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

「ソ」聯邦外國貿易ハ六月以來輸出入共毎月減退シ八月ニ至リ少シタ増加セルモ執レモ昨年同期ニ比シ著シク減退セルカ其月計左ノ如シ（單位百萬留）

	輸出	輸入	計	入超
	三一年	三一年	三一年	三一年
六月	三九・三	九六・八	一〇八・八	七五・六
七月	三六・〇	六四・七	八三・三	八一・六
八月	四七・九	八四・四	一〇一・八	一二〇・〇
一―八月累計	三九九・〇	五一五・四	八五六・六	七一八・九
	三二年	三二年	三二年	三二年
六月	九六・八	四七・三	一三六・九	四七・五
七月	六四・七	四七・三	一四六・四	一一・三
八月	八四・四	五三・九	二〇四・四	六・〇
一―八月累計	五一五・四	五〇六・六	一〇二三・四	一〇三・四

輸出品中最モ重ナル貨物ノ高左ノ如シ

在オデッサ日本領事館

		一九三二年 千噸	一九三二年 千留	一九三一年 千噸	一九三一年 千留
小麥	六月	一	一	三〇・〇	一・一六三
	七月	一	一	一一三・〇	三・七七八
	八月	二六・二	九九三	五六一・一	一五・八一六
ライ麥	六月	二・七	八〇	三六・七	一・〇六五
	七月	〇	〇・五	二四・八	六五六
	八月	一	一	六三・九	一・四八三
其他ヲ合シタル穀物計	六月	三・三	一四九	八八・三	三・二三六
	七月	〇・一	九	一七〇・二	五・六二六
	八月	三八・〇	一・四七一	七八三・七	二・一六六

在オデッサ日本領事館

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

木材	六月	八六三、八	一一、五三七	七五〇、四	一五二七五
石油類	七月	六四五、五	七、八〇七	一、〇二二、五一	二一、七七九
	八月	八五三、八	一〇、一八九	一、〇二六、九	二〇、〇四一
	六月	三三〇、九	五、〇九一	四五三、一	九、四二五
	七月	七三八、六	一二、三〇五	三五〇、七	七、三六五
	八月	五四六、〇	九、六七一	五二七、〇	一一、六四二

右重要輸出品中七、八兩月ノ石油類ヲ除イテ他ハ孰レモ昨年ヨリ減少セリ石油類ノ輸出ニ付テハ昨年ニ比シ七月ハ原油ハ半減シタルモ「ベンジン」ハ三十六萬噸、二倍半ノ增加ヲナシ其他ノ加工品モ增加セルカ八月ハ原油及燈油ニ於テ增加シ他ハ減少シ一般ニ一月乃至八月ノ累計ニ於テハ各種トモ增加セリ

在オデッサ日本領事館

一月以降八月迄ノ重ナル輸入品ノ國別左ノ如シ

	各國	英國	獨逸	伊國	米國	瑞典
工業用機械類	二八九、七五	一、一七七、七	三八、九	一、一	〇、六	一、二
工業用原料	一一二、七	七、九	三、三	〇、二	〇、二	〇、三
工業用粗製品	一三、九	〇、三	五、三			
交通用原料及製品	一九、五	一、三	三、〇	一、七	四、七	〇、一
食料品	四八、八	三、四	〇、五	〇	〇、一	〇
其他ヲ含シテ合計	五〇六、五	六六、七	二三三、七	二一、八	二一、〇	一六、二

本年八ケ月間ニ昨年同期ニ比シ英國ハ四六%餘、伊太利ハ一八%、瑞典ハ六八、七%ヲ增加シ獨逸ハ三百三十萬留ヲ、米國ハ一億五千四百萬留餘ノ減少ナリ「チエコスロワキヤ」ハ二千三百萬留ヨリ九百

在オデッサ日本領事館

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

萬留ニ、佛國ハ千百八十六萬留ヨリ二百二十一萬留ニ、波蘭ハ二千五百萬留ヨリ二百四十三萬留ニ減少セリ

尙此等諸國ニ對スル八ケ月間ノ輸出高ハ左ノ如シ

	一九三二年	一九三一年
英國	八一、三	一五五、一
獨逸	六六、三	八九、一
伊太利	一五、〇	二六、二
波蘭	二、五	四、四
米國	一〇、〇	一三、八
チエコスロワキヤ	一、一	三、四
佛國	一七、六	一九、五

瑞典　七、二　七、三

右ノ如ク孰レモ減退セリ

E-0286
0396
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第五　財政金融

工業ノ生産計畫遂行不能ハ國家財政ニ影響シ取扱高稅ノ如キ本期豫定ノ一割卽チ四億五千四百萬留ノ滯納アリ工業利益ノ納付金モ七月ノミニテ五百四十萬留アリ民間資金ノ動員ハ其基本種目ニ於テ第二期ノ不成績ニ比シ豫定以上ノ好成績ヲ收メタルカ其内都市ニ關スルモノハ從來ト異リ豫定額ニ不足シ公債ハ七〇％、貯金局預金ハ七〇％ノ實行ヲ見タルノミニテ内容憂フヘキモノアリ

歲出ハ豫定ヲ超過セリ

紙幣ノ增加甚タシク七、八兩月ノ增加額ハ昨年同期ノ一億六千九百萬留ニ對シ五億四百萬留卽チ三倍シ九月一日現在流通高三十四億三千萬留ニ上リ其後ハ從來通リノ紙幣發行高ノ公告サヘ無シ

而シテ勞働者及勤務者ニ對スル俸給ハ二ケ月モ不渡ニテ市中ニ金ナキモ物價ハ益々騰貴シツヽアリ

金融ハ國家銀行ノ貸出高ハ豫定ノ三分ノ一位ニシテ工業側ノ之ヲ利用スルコト少ナク從前ノ貸出金ノ返濟ノ滯納額ハ益々增加シツヽアリ

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

一、七月ノ財務成績

「エコノミイチエスカヤ、ジイズニ」所報ニ依ルニ七月ノ歳入ハ同月豫定ニ對シ取扱高税ハ九四%、鐵道收入八四、九%、工業ノ利益國庫納金ハ重工業九八、一%、輕工業五三、三%、供給部工業八四%ニシテ此項ノ計畫ニ對スル不足高五百四十萬留ナリ而シテ所謂民間資金ノ動員ニ依ル收入ハ第三期ノ「プラン」ニ對シ一七六%ナリ

七月ノ歳出中產業ニ對スル「フアイナンス」ハ重工業十億七千二百萬留豫定ノ一〇一、二%、輕工業一千六十萬留、六八、四%、林業一二

五、五%、農業一〇一、九%ニシテ概ネ豫算超過ナリ

二、民間資金ノ動員

第三期民間資金ノ動員ニ關シ十月十日付財務部參與會議ノ決定ニ依ルニ民間資金動員計畫ハ基本的項目ニ於テ十九億七千八百五十萬留即チ「プラン」ノ一〇〇、五%、取扱高税收入ハ四十億九千一百萬留即チ「プラン」ノ九〇、一%ノ實績ヲ見タリ

民間資金動員ノ收入ハ第三期「プラン」ニ對シ七月一七六%、八月三〇、四%ナリシカ九月ニ於テ右ノ成績ヲ擧ケタリ其内人民ノ意志ニ依ルモノハ强制的ノ租税ヨリモ甚タシク劣リ九月二十日ニ於ケル民

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

間貸金動員總額ハ期「プラン」ノ七七、三%ノ處强制的ノモノハ一〇二、

三、一%ナルニ任意的ノモノハ六三、二%ナリ

一、公債收ハ七月一二、六%、八月二九、一%ニテ九月二十日六五、五%九月末迄ニ九二、六%トナレリ右ハ新公債ノ應募申込ト實際拂込トノ間ニ關キアリタルニ因ル

二、貯金局預金ハ九月二十日迄ニ一九、五%ナリシカ期末ニ三〇、二%トナレリ

三、消費組合ノ株蓄積ハ七月末一六、三%、八月末四七、四%、期末五八、八%トナリ

四、「トラクトルツエントル」ノ株式ハ期末五八、六%

五、農藥貸下金ノ返納ハ八月末ニテ四六%ヲ實行セリ

本項ノ成績優秀ナル地方ハ「オデッサ」州、「ウズベク」共和國及極東ニシテ他ハ豫定ニ達セス

都市ハ村落ニ比シ從來常ニ成績良好ナリシカ本期ハ都市ノ「プラン」實行率ハ九六、九%ニシテ村落ハ一〇三、七%ナリ

「ウクライナ」ニ於ケル第三期民間貸金ノ動員ハ各州中豫定以上ノ好成績ヲ擧ケタルハ「オデッサ」ノ一一三%、「モルダビヤ」ノ一〇〇、一%ノミニシテ他ハ不足、最低ハ「キエフ」州ノ八〇、五%ニシテ「ウクライナ」全部トシテハ九二、五%ナリ

五、公債

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

六月十日應募ヲ開始セル第三回「五年計畫ヲ四年ニ」公債ノ應募高ハ初メ一ケ月間卽チ七月十日迄ニ七四、五％ニ達シタルカ爾來著シキ進展ナク十月一日迄ニ八四、三％ニ達セリ右公債ノ應募者社會部門別ヲ財務部公表ニ依リ示セハ左ノ如シ

	七月十日現在 百萬留	％	十月一日現在 百萬留	％
勞務者	一、九四八、六	八九、四	二、〇八四、一	九五、五
其他ノ市住民	一一九、七	六一、八	一四一、八	七三、五
コルホズ員	二六二、二	五四、六	三六五、二	七五、八
個人農家	一五、六	五、三	四九、七	一六、八
村落計	二七七、八	三五、八	四一四、九	五三、四

軍隊 —

總計	二、三四六、一	七四、五	二、六九六、九	八四、九

「ウクライナ」ニ於ケル公債募集成績ハ全聯邦總計ヨリモ不良ナルカ十月一日現在ノ「パーセンテージ」ヲ示セハ左ノ如シ

	平均	最高州	最低州
勞務者	八九、五	九三、三（ハリコフ）	八一、〇（モルダビヤ）
家內工業者	七一、四	八八、二（オデッサ）	五三、九（ウイニツア）
コルホズ員	五九、〇	九二、三（オデッサ）	四三、三（キエフ）
個人農家	一三、二	二三、一（ドネプロペトロフスク）	六、四（モルダビヤ）
計	七六、六	九〇、四（オデッサ）	六〇、六（ウイニツア）

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

内所定ノ拂込ヲナシタルモノ	八七、三	八九、一（ドネプロペトロフスク）	七三、〇（モルダビヤ）

右ノ如ク應募申込ヲナシタルモノハ全共和國ニテ七六、六%ナルモ其内所定ノ拂込手續ヲ了シタルモノハ八七、三%ナレハ實際ノ應募者ハ六六、九%トナル

而シテ「モルダビヤ」「ウインニツア」「キエフ」州等農業不振ノ地方ハ公債應募成績モ不良ナリトス

四、紙幣ノ增發

國家銀行ノ銀行券發行ハ穀物其他農產物ノ買上等ノ必要アリ急激ニ

增加シ七月中三億四千七百萬留、八月中一億五千七百萬留ヲ增發シ九月一日現在流通高三十四億三千萬留トナレリ昨年七、八兩月中ノ紙幣發行高ハ一億六千九百萬留ナリシヲ以テ本年ハ實ニ三倍ノ增發ニシテ十月一日現在ノ如キハ從來ノ例ノ如キ發行高ニ關スル公表サヘ無シ

又財務部ノ國庫證券發行額モ七月以降從來ノ手續ニ依レハ公表ヲ見ス右ノ如キ紙幣ノ增發アル一方物資缺乏ノ爲メ物價暴騰シツヽアルカ勞働者及勤務者ニ對スル勞銀ノ不拂ハ依然トシテ繼續シ二ケ月ニ及ヒ「オデッサ」市造船工場勞働者ノ如キ大部分ハ農業ノ爲メニ村落ニ送リタルカ殘部ノモノハ勞銀ノ支拂アル迄トシテ罷業シ居ル程ニシテ市中民間ニ通貨極少ナリ

E-0286
0381
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

五　金融

財務部機關紙「エコノミイチエスカヤ、ジイズニ」所報ニ依ルニ第三期經濟機關ニ對スル貸出豫定高ハ十七億四千六百萬留ナル處八月十六日迄ニ四億三千三百萬留、九月十六日迄ニ五億八千一百萬留卽チ三分ノ一ヲ貸出シタルニ過キス右ハ工業側カ其生產計畫ヲ實行セサリシニ依ルモノナリ而シテ途中ニ在ル貨物擔保ノ貸出ハ一億留ノ豫定ニ對シ七月初ヨリ八月六日迄ニ三千七百萬留ヲ貸出シタリ

計畫外ノ貸出高ハ本期ノ初メ一ケ月半ノ間ニ一億四千七百九十萬留ヲ減シタリ日用品ニ對スル計畫外貸出高ハ七月一日現在二千六百四

十萬留ハ八月十六日ニ四千四百六十萬留ニ上リタルモ九月十六日ニ三千二百八十萬留ニ降リ一般ニ金融利用薄弱ナリ

貸金ノ返濟停滯ハ著シク本期初二ケ月間ニ滯納額ハ七千三百萬留餘ヲ增加シ九月ニ入リテモ變化ナク又「コルホズ」ノ當坐預金ハ本期七千五百萬留ノ豫定ハ八月十六日迄ニ三千五百六十萬留トナリ期末迄ニハ全部實行ノ運ニ至ルヘシ

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第六　專門家ノ養成

「ソ」聯邦ニ於ケル專門家ノ養成ニ付テハ學校及學生共大ニ增加シ學校卒業ノ專門家ハ既ニ充分ニシテ過剩アル程ナルカ近來ノ學校卒業生ハ智識淺ク其任ニ堪エサルモノアルヲ以テ之カ改善ノ爲メ本期中次ノ二法令發布セラレタリ

一、高等學校及中等專門學校ノ「プログラム」及「レヂム」ニ關スル件

本件ニ關シ中央執行委員會ハ九月十七日付決定ヲ公布セルカ右決定ノ要領ハ次ノ如シ

一九二八年七月及一九二九年十一月ノ共產黨本部總會ノ決定及一九二九年九月十一日及一九三〇年一月十三日ノ聯邦政府ノ決定ニ依リ專門家ノ養成ハ現下ノ國家經濟ノ必要トスル程度迄向上シ高等及中等專門學校ノ數ハ增加シ新式ノ學校組織セラレ生產ヨリ引離スコトナクシテ教育ハ普及シ學生數モ擴大シ卽チ高等工業學校ハ一九二八

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年ニ五倍シ四百校トナリ中等工業學校ハ千六百校ニ達セリ高等及中等專門學校學生ハ本年百五十萬人餘トナレリ

專門家ノ數ハ一九二九年高等教育ヲ受ケタルモノ五萬七千人、中等教育ヲ受ケタルモノ五萬五千人ナリシカ本年ハ前者ハ二十一萬六千人、後者ハ二十八萬八千人ニ增加セリ而シテ學生ノ社會別モ變化シ高等工業學校ニ於ケル勞働者出身者ハ從前七割ナリシカ八乃至九割トナレリ

右學校ヲ經濟各人民委員部ニ移管セル爲メ具體的指導ヲ爲シ教務ヲ生產ニ近付ケ實習ニ便ナラシムルヲ得タリ

右ノ成功ハ第二次五年計畫ニ於ケル國民經濟ノ改造ニ伴フ專門家養成ノ基調ヲナスモノトナリタルカ學校及學生ノ數的增加ニ專念シ教

育ノ實質ニ注意ヲ缺キ其結果高等專門學校卒業生ハ技師ニ非スシテ技手格ノモノナルカ如キ變態ヲ呈セリ中等技術員ノ養成ニ著シキ成功ト共ニ大不足アリ關係各部及經濟機關カ必要ノ注意指導ヲ缺ケル爲メ充分ニ技能アル技手ヲ出スヲ得サリキ

然ルニ今ヤ各般ノ產業ハ最新ノ技術ヲ應用シ國民經濟ノ任務益々增大シ專門家ノ學理的智識ヲ必要トスルモノ切ナリ依テ學生ノ教育ハ從來通リ生產ト緊密ナル關係ヲ持シツヽ學生ノ自發心ト勤勉トヲ奬勵シ以テ學理的方面ヲ高メントスルモノナリ依テ左ノ通リ決定ス

一、教育計畫ニ付テハ學科ノ時間ヲ多クシ實習ヲ少クシ學科時間ヲ高等學校ハ八〇ー八五％（從前ヨリ一五ー二〇％增）中等學校ハ七〇％以上トシ上級生ニハ專門ノ隨意科目ヲ修業セシムル等ヲ重

E-0286
0384
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ナルモノトス

二、生產實習ハ二年又ハ三年生ヨリ初メ初年生ハ研究所及練習所等ニ於テナスコト

三、教授法ニ付テハ研究ノ授業ヲ盛ニシ講義ノ後ニ練習及實地研究ヲ爲サシメ學生各個ニ付試驗スル等

四、入學試驗制度ヲ設クルコト

五、學者及高級專門家養成ニ付テハ成績優等ナル卒業生ハ「アスピラント」トシ强力ナル高等學校ニ之ヲ集中シ相當講座ニ附シテ研究セシメ卒業ノ際ハ論文ヲ提出セシメ年五百留迄ノ研究費ヲ下附シ二、三年間研究セシムルコト、シ學位制度ヲ設ケ高級專門家養成ノ爲メ高等學校卒業後三、四年生產ニ從事セル成績優良ナル者

ヲ收容スル修業年限二、三年ノ技師學院（アカデミヤ）ヲ特設ス

六、學校ノ「レジム」ニ付テハ

(一) 校長ノ權限ヲ確保シ學生ノ黨及職業組合等ノ團體ノ校政ニ容喙スルヲ嚴禁ス

(二) 教授教員ノ位置及責任ヲ向上セシメ講座ノ擔任ハ所管人民委員部ニ於テ教授ノ稱號ヲ有スルモノヨリ任命シ助教授助手等ハ講座擔任者ノ申出ニ依リ校長ニ於テ任免ス

(三) 校長ハ教授ノ申出ニ依リ學生懲罰權ヲ有ス

(四) 學生教授ノ紀律ヲ嚴ニシ授業日數一週六日制ノ五十週トス

(五) 學生及教授ノ經濟的及政治的「カムペイン」ニ對スル頻繁且長期ノ動員ヲ停止シ期限前ノ卒業制度ヲ廢ス

E-0286
0385
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

二、「スチペンヂヤ」

高等及中等專門學校學生ノ奬學金（スチペンヂヤ）ニ關シ七月七日付中央執行委員會及內閣ノ決定ヲ以テ公布セラレタルカ右ハ學生ノ質ヲ改善スルニ努メ從來ノ學制ト著シク異ルモノアルカ其要點ヲ示セハ次ノ如シ

一、「スチペンヂヤ」ハ一九三〇年十月以降從來ノ學生特約ノ制度ニ代リテ設ケラレタル學生ニ對スル物質的給與ナリシカ新法ハ教育ノ質ヲ向上スル實際ノ模範トセリ

二、「スチペンヂヤ」ノ額ハ從來學校ノ種類ニ依リ高等學校ハ月額

平均七十、六十五、六十及五十留ノ四種、中等學校ハ四十五、四十及三十五留ノ三種ニ分チ各種トモ學年ニ依リ十留乃至二十留ノ等差ヲ設ケ之ヲ三級ニ分チ各級十留ノ等差ヲ設ケタルカ新法ハ各關係部（省）ニ所管額ヲ定メ各省及各學校ハ自由ニ其範圍內ニ於テ月額高等學校ハ三十五留乃至百九十留（重工業部地下作業學校ハ二百留迄）中等學校ハ二十五留乃至百二十留ノ高ヲ給スルコトトシ

三、「スチペンヂヤ」ノ等級額ハ從來ハ學校ノ管理部カ職業及公共團體ノ代表者ト共ニ學生ノ生產從業年限及家庭的狀態ニ依リ定メタルカ新法ハ家庭狀態ノ如何ニ不拘學業ノ成績如何ニ依リテ之ヲ定メ學業ノ成績ハ教授ニ於テ定メ學校長ハ成績不良ナルトキハ一

E-0286
0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

スチペンヂヤ」ノ交付ヲ停止スルコトヲ得ルコトヽシタリ

新入學生ニシテ貧困ナルモノニ對シテハ初メ三ケ月間特定基金ヨリ一時補助金ヲ交付スヘク右特定基金ハ「スチペンヂヤ」額ノ五ー七%ト定メタリ

四、「スチペンヂヤ」ヲ受クル學生數ハ從前ハ學校ノ種類ニ依リ高等學校ハ學生總數ノ五〇ー七五%、中等學校ハ四〇ー五五%ト一定セルカ新法ハ學校長カ教授及學生團體ノ調査ニ基キ自己ノ責任ヲ以テ個人的ニ與ヘラレタル經費ノ範圍内ニテ其人數及金額ヲ定ムルコトヽセリ

右新制度ノ實施振ニ關シ「オデツサ」ニ於ケル狀況ヲ聞クニ左ノ如シ

一、學生ノ數ハ「スチペンヂヤ」カ學術成績銓衡ノ上交付セラレ成績不良ノモノハ之ヲ受クルヲ得ス從テ從來ノ如ク殆ント全部カ受クルヲ得サルコトヽナルヲ以テ自己腦力ヲ疑ヒ入學ヲ見合ハスルモノ豫定數ノ約四分ノ一アリ次ニ入學後モ未タ「スチペンヂヤ」ノ交付ナク生活ノ費ナキヲ以テ退學スルモノ四分ノ一アリテ新入生ハ豫定ノ半數ナルカ政府當局ハ之モ止ムヲ得ストシテ規定ノ勵行ヲ訓令シアル由ナリ

二、學生ノ殆ント全部ハ其學費ヲ從來「スチペンヂヤ」ニ賴リタル處右規則改正ノ爲メ多クハ殊ニ新入學生ハ學費無キ爲メ工場ニ勞働シ夜間聽講スルモノ多クナリ爲メニ晝間授業ヲ受クルモノハ三分ノ一位ニシテ他ハ夜間ニ移リ從前ト反對ノ組合ヲナスニ至リ其

E-0286
0387
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

多クハ營養不充分ニシテ晝間勞働ノ爲メ疲勞シ缺席スルモノ多シ

尾、右學費ノ不足及食料ノ缺乏ノ爲メ學生ノ道德心ハ一層下降シ盛

難顏々トシテ起リ食ヲ得ル爲メ授業ヲ休ムモノ多シト

（終）

在オデッサ日本領事館

159

E-0286

0388

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

E1.2.0.X1-R1

欧米局
普通第一二三號

昭和七年十一月十八日

在ハバロフスク
總領事代理　小柳雪

外務大臣伯爵　内田康哉殿

本年第三期ニ於ケル極東地方國民經濟ノ決算ニ關スル件

本年十月二十五日開催ノ「ハバロフスク」黨員會議（バルトクライ）ニ於ケル共産黨極東地方委員會第二書記長「グリチマーノフ」報告演說本月四日ノ當地極東機關紙上ニ掲載セラレタル處石報告演說中本年第三期ニ於ケル極東地方國民經濟ノ決算ニ關スル部分左ノ通要譯報告ス

昭和七年十一月廿日　接受

在ハバロフスク日本總領事館

本年第三期ニ於ケル極東地方國民經濟ノ決算

第三期決算ノ批評ニ當リ留意スヘキコトハ今期ハ前二期ニ比較シ一層緊張ヲ要スル期間ナリシコトナリ例ヘハ今期ハ前二期合計ニ比較シ三倍ノ漁獲高、三倍ノ採金高ヲ擧ケ又ヨリ多クノ資本的及自治的建設ヲ成就スヘカリシコト等之ナリ然レトモ今期計畫不成就ニ對スル吾人ノ責任ハ之カ爲決シテ解除セラルルモノニ非ス吾人ハ凡ユル「ボリシエヴキ」的淡泊サヲ以テ各部門殊ニ採金、石炭、木材及「ソフホーズ」万面ニ最大ノ破綻ヲ有スルコト及今期計畫ノ目標ハ各部門共嘗バ以上ヲ遂行セサリシコトヲ認メサル可カラス

今昨年同期ニ比較シ今期ニ於ケル吾人ノ活動劣レルカ又物資增加ノ万面ニ於テ吾人ノ經濟ヲ前進セシメタルヤヲ見ルニ次ノ數字ハ吾人

在ハバロフスク日本總領事館

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ニ有利ナルコトヲ示セリ即チ極東地方國民經濟部門ヲ見ルニ
本年第三期ニ於ケル重工業生産物ハ昨年同期ニ比較シ四三「パーセント」ノ增加ニシテ著シキ增大ナルカ輕工業生産物ハ六、三「パーセント」ノ增加ニ過キス木材流送ハ二二「パーセント」ノ增加、木材ノ陸路搬出ハ一二四「パーセント」ノ增加ナリ但石ハ昨年第三期ノ陸路搬出殆ント無カリシ爲ナリ其ノ他運搬高一四「パーセント」、鐵道貨物運輸五、七「パーセント」、河川運輸五「パーセント」、石炭二、二「パーセント」輸出同貨物五、二「パーセント」ノ各增加ニシテ又遊資ノ回收ハ九一「パーセント」ノ增加ヲ示シ大成功ヲ收メタリ

尙本年九個月ノ總計ヲ昨年九個月ノ天ニ比較スル時ハ更ニ顯著ナル

進出ヲ見ルヘシ即チ重工業生産物六一、三「パーセント」、輕工業生産物三一、八「パーセント」、漁獲高一五「パーセント」、石炭二〇、三「パーセント」、木材搬出二九「パーセント」。漁獲高一五「パーセント」、石油六二「パーセント」ヲ夫々增加シ昨年九個月間ノ石油採掘高九萬噸ニ對シ本年ハ一四萬六千噸ニ及ヘリ其ノ他遊資ノ回收七二「パーセント」ノ增加ヲ示シ昨年十月一日ニ於ケル穀物收獲率五三「パーセント」ニ對シ本年ハ七三「パーセント」ニ達セリ

次ニ資本的建設及特殊ノ建設等重要部門ヲ見ルニ凡ユル不振ヲ他所ニ本年九個月間ニ四億六千萬留ニ達スル計畫ヲ遂行セリ因ニ昨年十二個月間ニ於テハ二億九千三百留ナリ其ノ他貨物輸送、航空、造船等ノ發展ニ付テハ述ヘサルモ同万面ニ於テモ昨年ニ比較シテ大ナル

E-0286
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

成功ヲ獲得シタリ

向比較ヲ一層明瞭ナラシムル爲聯邦ノ八個月間ト極東地方ノ九個月間トヲ對照スルニ聯邦ノ重工業年計畫遂行率四七、二「パーセント」ニ對シ極東地方五〇「パーセント」ニシテ昨年ニ比較シ生産物ノ増加ハ聯邦二四、五「パーセント」、極東地方六一、九「パーセント」ナリ之ニ依リテ觀ルモ極東重工業ニ對シ中央委員會ノ採リタル方策カ徒勞ナラサリシコトヲ知ルト共ニ吾人ハ勞働階級及蘇國体ノ成功ヲ認メサル〳〵ヲ得ナリ又輕工業ヲ見ルニ聯邦ノ年計畫遂行率五二、八「パーセント」ニ繕對シ極東地方四九、一「パーセント」ニシテ昨年ニ比較シ生産物ノ増加ハ聯邦一〇、二「パーセント」、極東地方三一、八「パーセント」ナリ伐木計畫遂行率聯邦五〇、九「パーセント」、極東地方六八「パーセント」、木材搬出同シク聯邦五七「パーセント」、極東地方六八「パーセント」ニシテ昨年ニ比較スレハ聯邦四、六「パーセント」、極東地方二九「パーセント」ノ各増加ナリ漁獲高ハ聯邦九三〇萬「ツエントネル」（年計畫ノ四八、七「パーセント」）極東地方三六三〇〇「ツエントネル」（年計畫ノ六八、八「パーセント」）ニシテ昨年ヨリモ聯邦八、九「パーセント」、極東地方一〇「パーセント」ノ各増加ニシテ極東地方ノ全聯邦ニ對スル漁獲高比率ハ三（三「パーセント」ニ達ス、採炭計畫遂行率聯邦四七、二「パーセント」、極東地方五四、五「パーセント」ニシテ昨年ニ比較シテ聯邦二一、六「パーセント」、極東地方二〇、三「パーセント」ヲ夫々増加セリ

E-0286

0391

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

斯ノ如ク極東地方ト「ソ」聯邦全体ノ國民經濟比較ノ結果ハ左ノ結論ヲ得ヘシ即チ本年ノ計畫遂行ニ付極東地方黨團体及勞働階級ハ「ソ」聯邦ニ比較シテ劣ラサルコト。次ニ黨中央委員會及黨團体ノ努力ノ徒勞ナラサリシコト及吾人ハ今日極東地方經濟ニ確固タル變革ヲ加ヘ凡ユル部門ノ歴然タル抬頭ヲ招來シタルコト、他方吾人カ計畫ヲ成就セス目下語ルヘキ何等ノ大成功ヲ有セサルコト之ナリ或者ハ兩記比較ニヨリ極東地方ヲ以テ先驅者ナリトノ印象ヲ受ケムモ吾シ然リトセハ右ハ明ニ誤レルモノニシテ吾人ハ極東地方經濟ノ尚著シク發達ノ下位ニ在ルコトヲ忘ルヘカラス若シ極東地方ノ或ルモノカ聯邦ノ上ニアリトセハ右ハ大分「ソ」聯邦全体ノ努力ト黨及ヒ「ソ」國全体ノ吾人ニ示ス特別ノ援助ノ結果ナリ吾人ハ極東地方ヲ

B

在ハバロフスク日本帝國總領事館

先驅者タラシムル爲更ニ力ヲ致スヘキナリ

本信爲送付方

在蘇聯邦臨時代理大使

在浦潮斯德總領事

B

在ハバロフスク日本帝國總領事館

E-0286

0392

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

E1.2.0.XI-R1

欧米局ノ
機密公第四六五號

昭和七年十二月三十日

在「ソヴイエト」聯邦
特命全權大使　大田爲吉

外務大臣伯爵　内田康哉殿

最近ニ於ケル「ソ」聯邦ノ財政及一般經濟狀況ニ關シ報告ノ件

最近ニ於ケル「ソ」聯邦ノ財政經濟狀況ニ關シテハ本年十月二日附公第三七一號ヲ以テ報告申進置キタルカ其ノ後ノ財政及一般經濟狀況左ノ通

昭和八年一月一日

在ソヴィエト聯邦日本大使館

一、財務當局ノ發表スル處ニヨレハ第三期（八月乃至十月）ノ豫算上ニ於ケル一般國民資源ヨリノ收入額ハ十九億七千八百五十萬留（計畫ノ一〇〇・五％）ニ上リ又收引稅ヨリノ收入額ハ四十億九千百萬留ニ達シ相當ノ成績ヲ擧ケタル趣ナルカ財政計畫ノ實質的方面ニ於テハ其ノ成績大ニ之ニ反シ公債貯金等ノ所謂自由意思ニ基ク支拂ノ實行ハ遲々トシテ進捗セス計畫實現ノ割合ハ公債九割二分六厘、貯金三割二厘、「コー・ペラチヴ」ノ持分ノ拂込五割八分六厘、「トラクトル、ツエントル」ノ株拂込五割八分六厘ニ過ギサル狀態ナルヲ以テ聯邦財務人民委員部ハ關係財務機關ノ注意ヲ喚起スルト共ニ第四期ニ於ケル財政計畫ノ實現ニ付一段ノ努力ヲ爲スヘキコトヲ要望スル處アリタリ（十月十日附聯邦財務人民委員部參與會議決定）

二、十二月一日現在ノ計數ニヨレハ第四期（十月乃至十二月）ノ豫算上ニ於ケル公共化部門ヨリノ收入（收引稅其他）ハ同期財政計畫ノ六割一分九厘、租稅自課稅等ノ人民ノ義務的支拂ハ八割八分

在ソヴィエト聯邦日本大使館

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

八厘、公債貯金等ノ任意的支拂ハ五割五分四厘ニ過キス其ノ成績何レモ不良ナルカ就中豫算上ニ於ケル公共化經濟部門ヨリノ收入ノ捗々シカラサルハ後記ノ通リ各經濟部門カ其ノ生産計畫實現上幾多ノ支障アルコトヲ如實ニ語ルモノニシテ之ヲ本年度ノ公共化經濟部門ノ利益蓄積額ノミニテモ八十二億留ニ上ルヘシト計上セラレ居ルコトニ想到スレハ現在「ソ」聯邦ノ財政カ如何ニ動キツツアルカノ一斑ヲ察知シ得テ餘リアルヘシ

三、收入ノ方面ニ於ケル國家豫算ノ實行振リハ前記ノ通リ遙ニ計畫ニ達セルニ反シ支出ノ方面ニ於テハ國家機關ヲ初メトシ各經濟機關等各方面ニ亘リ計畫ヲ超過シテ支出行ハレツツアリ即チ（一）本年度ノ豫算ニ於テ行政管理費削減額トシテ一億二千五百萬留ヲ計上シ居ルニ拘ラス毫モ經費ノ節約行ハレ居ラサルコトハ既ニ報告（六月二十二日附公第二三五號）ノ通リナルカ更ニ（二）各經濟機關カ生産費低減ニ關スル計畫ヲ實行スルコト能ハサル結果收入ノ減少ヲ來シ支出ノ增加ヲ齎來シ居ルコトハ謂フ迄モナキカ右

在ソヴィエト聯邦日本大使館

ノ外（三）經費ノ節約冗費ノ防止等ハ徒ニ聲ノミ高クシテ事實上何等ノ效果ナク（四）殊ニ計畫ヲ超過シテ賃銀ヲ支拂ヒ而モ生産ハ計畫ニ達セサルカ如キコトハ枚擧ニ遑サキモノノ如ク十二月十五日ノ「プラヴダ」ハ社說ヲ掲載シテ此種幾多ノ實例ヲ指摘スル處アリタリ本件ニ關シテハ茲ニ計畫ヲ超過シテ賃銀ノ支拂ヲ爲シタル責任者ニ對シテハ刑事上ノ訴追ヲナスコトナリタルカ（十一月十四日附勞働人民委員部蘇與會議決定及十二月三日附聯邦人民委員會議決定）最近供給人民委員部管下ノ莫斯科屠殺場及莫斯科葡萄酒「トラスト」ノ責任者ハ計畫ヲ超過シテ賃銀ノ支拂ヲ爲シタル廉ヲ以テ遂ニ訴追セラルルニ至レリ

本年上半期ニ於ケル供給人民委員部管下工業ノ生産計畫ノ實現ノ割合ハ八割一分六厘又第三期（七月乃至九月）ハ九割七分八厘ナルニ拘ラス賃銀ノ支拂ハ上半期ニ於テハ計畫ノ金額ヲ支拂ヒ又第三期ニ於テハ計畫ヲ超過スルコト六分六厘達シタルカ尙同人民委員部管下ノ工業ハ本年六月六日附勞働國防委員會ノ命令及同七

在ソヴィエト聯邦日本大使館

E-0286

0394

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

月五日附同人民委員部ノ追加命令ニ違反シ定員以上ノ人員ヲ擁シ居ルコト判明セリ現在「ソ」聯邦ノ經濟ニ於テ焦眉ノ急務タル一般消費品ノ生産ニ從事スル工業ニ於テスラ斯クノ如キ有様ニシテ計畫以上ノ人員ヲ有シ又團体契約ニヨル標準ヲ超ヘテ賃銀ノ支拂ヲナス事實ハ各方面ヲ通シ行ハレツツアル次第ハ黨中央監督委員會及勞働檢査人民委員部ノ指摘セル通ナルカ這般ノ弊害ヲ防止スル爲將來「トラスト」ハ毎月及各期ニ付賃銀支拂計畫ヲ其ノ隷屬スル人民委員部ニ提出スルコトヲ要シ同人民委員部ノ許可ナクシテ壇ニ賃銀ヲ増加スルコトヲ禁止セラルルニ至レリ

四、「ソ」聯邦ノ公共化經濟部門ノ生産計畫實現カ最近益々困難ノ度ヲ加ヘ來リツツアルコトハ幾多ノ原因ニ基クモノナリ元來「ソ」聯邦ノ國民經濟ハ計畫經濟ニ立脚シ各經濟部門ハ唇齒輔車ノ相關々係ニアルモノナルカ故ニ之ヲ大ニシテハ一經濟部門小ニシテハ一工場ニ至ル迄其ノ生産若クハ建設計畫ノ實現ハ同時ニ他ノ關係經濟部門ノ計畫實現ニヨリテ初メテ其ノ目的ヲ達成セラルヘキモ

ノナリ從テ一經濟部門カ計畫ヲ實現スルコト能ハスシテ了ル場合ニハ其ノ波動ハ各方面ニ影響シ茲ニ國民經濟發展計畫ノ全面的計畫不實行ノ因ヲナスニ至ルモノニシテ現在ノ「ソ」聯邦ノ經濟ハ正ニ此ノ段階ニアルモノト謂フヘシ而シテ這般ノ情勢ノ下ニアリテ生産又ハ建設計畫ヲ實現セントスル當面ノ責任者ノ地位カ如何ニ困難ナルカ想像以上ナルカ右ノ外更ニ(一)頻々タル組織ノ改變ト經營指導者ノ更迭(二)極度ノ物資ノ缺乏(三)勞働者及勤務員ノ移動(四)技術員及熟練勞働者ノ不足(五)運輸ノ圓滑ヲ缺クコト(六)原料補給ノ不十分等ハ總テ經營指導者ノ雙肩ニ懸ルモノナルカ此ノ間ニ善處シテ計畫ノ實現ヲ遂ケンカ爲ニハ自然(一)勞働者及勤務員數カ定員ヲ超過シ(二)賃銀ノ支拂カ計畫以上トナルコトハ已ムヲ得サル次第ナリ而シテ比較的優良ナル成績ヲ擧ケツツアル部門ニアリテハ定員以上ノ勞働者ヲ保持シ又ハ計畫ヲ超過シテ賃銀ノ支拂ヲ爲スコトヲ得レトモ實績不良ナル方面ニ於テハ財政上之ヲ許サス其ノ結果勞働者及勤務員ハ他ノ比較的物資供給ノ豐カナル方面ニ移

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

動スルモ唯拱手傍觀如何トモ爲スコト能ハズ結局責任者ハ引責シテ其ノ地位ヲ退クノ外ナキ實情ニシテ頻々タル經營指導者ノ更迭ハ茲ニ由來スルモノナリ

現在ノ「ソ」聯邦ノ各經濟部門ハ其ノ善惡如何ヲ問ハズ何レモ數量的計畫ノ實現ト品質的計畫ノ實現トハ愈々相背反乖離シ其ノ懸隔益々大トナリツツアル現情ナルカ右ハ各經濟部門ノ財政經濟狀態ニ影響ヲ及シ各經濟部門ノ財政經濟狀態ノ惡化ハ直ニ國家豫算ノ實行ニ反映シ茲テ彼此相俟ツテ「ソ」聯邦ノ國家財政ニ對スル重壓ハ刻々增加シツツアリ

五、「ソ」聯邦カ有ユル努力ヲ傾倒シツツアル國民經濟發展計畫實現上ノ障碍トナルモノハ前記ノ通リ幾多ノ錯綜セル事象ニ原因スルモノナルカ現在ノ「ソ」聯邦ノ如キ經濟ニアリテハ其ノ產業計畫實現ノ原動力ヲ爲スモノハ、結局勞働ノ生產力ノ向上ニ求ムルノ外ナカルベク而モ勞働規律ノ作振勞働ノ生產力ノ向上ノ如キハ一片ノ法令ヲ以テ能ク其ノ目的ヲ達成シ得ヘキモノニアラス勞働規

律ヲ作振シ勞働ノ生產力ノ向上ヲ圖ラントセハ先ツ勞働者及勤務員ノ生活狀態ノ改善就中日常生活ニ必要ナル物資供給ノ改善ヲ爲ササルヘカラサルコトハ今日何人ト雖モ異議ナキ處ニシテ過去一年間黨及政府ハ全力ヲ本問題ニ注キ來リ之カ爲幾多ノ制度ノ改廢行ハレタルモ今日ニ至ルマテ毫モ改善ノ跡ナク事態ハ更ニ本年度ノ農業生產ノ減少ニ伴ヒ一層惡化シツツアリ

勞働者及勤務員ノ生活狀態改善ナル語ハ現在「ソ」聯邦ノ全經濟カ其ノ解決ニ焦慮シツツアル一命題ナルカ「ソ」聯邦ノ各經濟部門ノ殆ント全面的計畫不實現ニ基ク國家財政ニ對スル重壓愈々急ナラントスル今日千八百萬ヲ算スル勞働者及勤務員ニ必要ナル物資供給ノ改善ヲ爲スカ如キヨトハ誠ニ容易ナラサル難事業ナリ

從來個人ノ消費經濟ヲ極度ニ抑壓シテ國家ノ生產經濟ニ邁進シ來リタル「ソ」聯邦ノ國民經濟ニ於テモ今ヤ其ノ極限ニ到達シ今後ノ發展ニ付テハ生產經濟ヲ抑止シ個人ノ消費經濟ヲ培養スルノ必要ニ迫ラルルニ至レルコトハ最近ニ於ケル一般經濟狀況及國民大

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

多數ノ生活實情ニ鑑ミ將又黨及政府ノ政策ノ明示スル處ナルカ今回黨及政府ハ(一)國家機關及各經濟機關ノ人員ノ整理ト(二)不良勞働者及勤務員ノ淘汰ヲ斷行シ(三)先ツ經費ノ節減ヲ計リ國家財政ニ對スル重壓ヲ輕減シ以テ(四)勞働者及勤務員ノ生活狀態ノ改善ヲ圖リ(五)他面勞働規律ヲ振興シ勞働ノ生產力ヲ向上シ(六)斯タテ計畫實現上ノ重大ナル原因ヲ排除セントスルニ至レリ

六、最近「ソ」聯邦ノ各國家機關及經濟機關カ多數ノ冗費ヲ擁シ居ルコトハ黨中央監督委員會及勞働檢査人民委員部ノ指摘セル處ナルカ（十一月二十五日附公第四二一號參照）何故ニ斯ノ如キ冗員ヲ有セサルヘカラサルヤヲ事由ハ前記ノ通ナルモ其ノ實情ハ更ニ甚シク殊ニ勤務員ノ方面ニ於テ特ニ顯著ナルカ聯邦重工業人民委員部ハ其ノ管下工業ヲ通シ四千四百八十七名ヲ減員スヘキ旨發表シ（十一月二十五日附「オルジョニキッゼ」命令）又露西亞共和國ニ於テハ十二月三十日迄ニ各人民委員部ノ人員ヲ九百名以上減員スルコト」トナリ（十二月二十日「イズヴェスチヤ」）タルヲ

在ソヴィエト聯邦日本大使館

初メトシ其ノ他ノ各方面ニ於テモ續々人員ノ整理減員ヲ實行シツツアリ而シテ這般ノ整理ニ依ツテ生スル經費ノ節減額ハ年額千五百萬留ニ上ルヘシト稱セラル

七、國家機關及經濟機關ノ勤務員ノ整理ト同時ニ各工場ニ於テモ不良勞働者及勤務員ノ淘汰ニ着手シ假令一日ト雖モ正當ノ理由ナクシテ缺勤スルトキハ缺勤者ハ企業（又ハ官廳）ヨリ解雇セラレ且企業（又ハ官廳）カ付與シタル物資配給手帳ノ使用及當該企業（又ハ官廳）ノ住宅内ニ居住スルノ權利ヲ剝奪セラルルコトトナリタルカ（十一月十五日附「正當ノ理由ナキ缺勤者ノ解雇」ニ關スル聯邦中執委員會及人民委員會議決定、十一月二十四日附公第四一九號）之レト同時ニ(イ)勞働者及勤務員ニ對スル物資配給機關ヲ改善シ(ロ)缺勤又ハ移動スル勞働者ニ對スル物資ノ配給ヲ防止セン爲ニ(ハ)企業ノ支配人ノ權限ヲ革固ナラシムル目的ヲ以テ勞働者及勤務員ニ對スル從來ノ物資配給制度ヲ變更セリ（十二月四日附聯邦人民委員會議及黨中央委員會決定）

在ソヴィエト聯邦日本大使館

E-0286

0397

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

從來閉鎖配給所ハ消費組合ノ直接管理下ニアリシカ之ヲ改メ「セルプ及モロト」工場、「スターリン」工場（舊「アモ」）以下工場附屬ノ閉鎖配給所ヲ有スル百六十二ノ大工場ノ閉鎖配給所ヲ消費組合ヨリ工場管理部ノ直接管理ニ移シ前記百六十三以外ノ大工場及工場附屬ノ閉鎖配給所ヲ有セサル工場ニ付テハ從來通リ消費組合ノ管理ニ置クモ此ノ種配給所長ニハ工場支配人代理人ヲ任命シ以テ工場管理部ノ權限ヲ擴張セリ（十二月四日附聯邦人民委員會議及黨中央委員會決定）

從來家屋管理人（都市ノ家屋居住者ニシテ選擧權ヲ有スルモノニヨリ選擧セラレ家屋ノ管理經營居住者ニ對スル證明書ノ發給等一切ノ事務ヲ取扱フモノナリ家屋管理人ナキ郊外及農村ニアリテハ民警署之ニ當ル）カ其ノ管理下ノ家屋内ニ居住スル勞働者及勤務員ニ對シテ發給シタル證明書ニヨリ地方「ソヴィエト」附屬ノ物資配給手帳發給所カ交付シタル物資配給手帳ハ總テ家屋管理人（都市郊外居住者ニアリテハ民警署）ノ證明書ニ基キ工場管理部ヲ通シ初メテ物資配給手帳發給所ニ於テ發給シ工場管理部之ヲ交付（手帳交付ニ當シ一定ノ商店又ハ配給所ヲ指定ス）スルコトトナレリ斯クノ如ク物資配給カ工場管理部ノ管理下ニ歸シタル結果勞働者及勤務員ニシテ工場ヨリ解雇セラルル場合ニハ同工場ヨリ發給セラレタル物資配給手帳ヲ直ニ返還スルコトヲ要シ又新ニ雇傭セラルル勞働者又ハ勤務員ニ對シテハ從前勤務シタル工場管理部ニ物資配給手帳ヲ返還シタル證明書ヲ提出スルニアラサレハ新手帳ヲ交付セサルニ付自然手帳ノ濫用防止セラレ物資配給上ニ於ケル濫費ヲ制止スルコトヲ得ヘキト共ニ他面勞働規律ヲ作興シ以テ勞働ノ生產力ノ向上ヲ可能ナラシメントスルモノナリ

尙地方ニ於ケル各機關ノ人員ヲ充實シ兼テ經費ノ節約ヲ圖ル爲莫斯科ニ於ケル各研究所及學校ニテ養成シツツアル生徒中一定ノ課程ヲ終了シタルモノヲ地方機關ニ派遣シ又黨ニ於テモ社會主義建設ノ中堅トナルヘキ黨員ノ士氣ヲ刷新スル爲十二月十日以後「ソ」聯邦ノ都市及農村ヲ通シ黨員候補ヲ採用及黨員ヘノ轉籍ヲ停止シ

在ソヴィエト聯邦日本大使館

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

千九百三十三年度中ニ於テ黨員及黨員候補ノ整理ヲ實行スルコトトナレリ（十二月十日附黨中央委員會決定）

八、黨及政府カ所謂「ゾヴィエト」商業即チ國營商業ノ發展及「コルホーズ」商業ノ設定ニ依リ物資供給ノ圓滑ヲ計リ以テ一般勞農大衆ノ生活狀態ノ改善ヲ企圖セル政策ハ所期ノ效果ヲ齎スニ至ラス更ニ農業生産ノ減少ハ勞働者及勤務員ニ對スル物資配給ヲ惡化セシメ工場管理部ハ物資ノ配給ニ狂奔苦慮シ「ソ」聯邦ノ全經濟ニハ怠業氣分漫々トシテ蔓リ勞働規律弛緩シ勞働ノ生産力ハ低下シ國民經濟發展計畫ノ進行阻害セラレリ

他方本年九ヶ月間ノ外國貿易ハ輸出四億千九十一萬三千留（前年同期ニ比較シ一億八千二百五十六萬千留減）輸入五億五千二百九十二萬千留（前年同期ニ比較シ二億五千百三十五萬千留減）ニシテ一億四千二百萬八千留ノ入超ヲ示シ從テ其ノ對外支拂上外國貿易人民委員部及財務當局ハ外貨ノ吸收ニ關シテハ有ユル努力ヲ爲シツツアルカ（「トルグシン」（外貨ニテ商品ヲ販賣スル特別ノ商

店）網ヲ擴張シ外貨ニテ販賣スル以外金銀ヲモ地金ニテ金留ニ換算シテ販賣シ居レルカ同商店ハ商品ヲ購入スル露人ニテ充滿シ居レルカ其ノ他最近ニハ千金留ヲ提供スル露西亞人ニ對シテハ直ニ出國旅券ヲ發給スルコトトナレルカ如キハ其ノ一例ニ過キス現在ノ「ソ」聯邦ノ經濟ニアリテハ外貨ヲ以テスレハ何事ヲモ爲シ得ルテフ外貨萬能時代ヲ現出シ居レリ）輸入ノ激減ハ計畫實現ニ必要ナル機械類其ノ他ノ物資購入ノ抑制トナリ計畫ノ實現ヲ中止又ハ遷延セシムルモノニシテ「ソ」聯邦ノ國民經濟ノ發展計畫ハ今ヤ內外兩方面ヨリ其ノ實現益々困難トナリツツアルカ各經濟部門カ豫定ノ計畫ヲ實行スルコト能ハサル結果「ソ」聯邦ノ國家財政ニ對スル重壓ハ刻々增加シ這般ノ國家財政ノ急需ニ應スル爲ニ通貨ハ膨張ノ一途ヲ辿リツツアリ

財務人民委員部ハ本年七月一日以降國庫券ノ發行額ヲ公表セス國立銀行モ亦九月一日ヲ最後トシ爾來今日（十二月三十日）ニ至ル迄其ノ發行「バランス」ヲ發表セサルヲ以テ（公第三七二號ノ五

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

參照）現在ノ通貨ノ發行總額ヲ知ルニ由ナキモ從來ノ計數ニ徴スレハ百億留ニ近カルヘシト想像セラル

九、國内ニ於ケル通貨ノ膨張ト極度ノ物資ノ缺乏ニ伴ヒ一般自由市場（バザール）ニ於ケル物價ノ暴騰ハ停止スル處ヲ知ラス（「バザール」ノ物價ハ其ノ日ニヨリ變動シツツアルカ十一月三十日莫斯科ノ「バザール」ニ付テ調査シタル平均値段ヲ擧クレハ一「キロ」ニ付羊十七留、肉十五留、豚二十四乃至二十六留、「バタ」五十留、鷄一羽十五乃至二十五留、鷄卵十個十留、茶一封度四十留、砂糖一「キロ」八留、粗末ナル綿紗及「キャラコ」一米十留女靴一足百五十乃至二百留、出來合外套四百留内外、靴下一足十五留等ナリ）國營商店カ殆ント空虛ニ同樣ナルニ反シ「バザール」ニハ群衆雑踏シテ其ノ混亂名狀スベカラサル狀態サリ「バザール」ニ比較的物資ノ出廻豐富ナリト稱セラルル莫斯科ハ謂フ迄モナク其ノ他ノ都市及農村ニ於テハ日常物資ノ窮乏其ノ極ニ達シ殆ント飢餓狀態ニ近シト稱スルモ過言ニアラス都市榮ヘ農村ニ於クハ何

ソヤ之レ「左傾」ナリ、農村榮ヘ都市飢餓ニ頻スルハ「右傾」ナリ都鄙何レモ飢餓ニ頻スルモノ即チ黨ノ根本方針ナリトノ逸話巷間ニ喧傳セラレ居ルハ現情ヲ道破セルモノト謂フヘシ

而シテ此ノ間ニアリテ物資入手上比較的優良ナル地位ヲ占ムルモノハ技術專門家及勞働者ナルカ之等ノ者ト雖モ國定價格ヲ以テ配給セラルル數量ハ限定セラル（十一月中ニ莫斯科ニ於テハ勞働者ニ對シ肉一「キロ」二留ニテ四「キロ」配給セラレタリ尚勞働者ニハ毎日「パン」八百「グラム」、一ケ月砂糖一「キロ」六十哥ニテ配給セラル）カ故ニ右配給以外ノ所要物資ハ一般自由市場ニ求メサルヘカラサルカ勤務員ニ至リテハ國定價格ニテ配給ヲ受クルモノハ殆ント「パン」（一日四百「グラム」）ノミニ限ラレ（其ノ他月一、二回少量ニ亘リ砂糖八百瓦及小量ノ馬鈴薯ヲ配給セラルルニ過キス）居ル現情ナルニ付日常必須品ノ多クハ自由市場（自由市場ニ出廻ル物資ノ根源ハ㈠農民カ持來ルモノト㈡勞働者就中工場附屬食堂ニテ食事スル同身勞働者カ配給セラレタル一部

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ヲ市場ニ賣却スルモノトノ二種ニ分ル）ニテ購入スルノ外ナシ

一〇、現在「ソ」聯邦ノ經濟ニアリテハ前記ノ通リ勞働者ハ生活ニ必要ナル物資ノ一部分ハ低廉ナル國定價格ニテ配給ヲ受ケ之ニ對シ賃銀ノ一部ヲ支拂ヒ其ノ殘部ハ所謂商業價格ヲ以テ國營商店若クハ高價ナル自由相場ヲ以テ一般自由市場ニテ購入シ（機密公第四五號ノ二參照）又農民ニアリテハ「コルホーズ」員タルト個人農タルトヲ問ハス其ノ農業生産品ノ一部分ハ極メテ低廉ナル國定價格（停車場マテノ運賃込値段一「ハンドレツトウエイト」ニ付裸麥八留二哥、小麥（ソフト）十留二十九哥、小麥（ハード）十一留四哥、七月十九日附勞働國防會議決定）ヲ以テ買上ケラルルモノニシテ右國家ニ對スル一定ノ給付義務ヲ果シタル場合ニ於テノミ殘餘ノ農業生産品ヲ自由相場ニテ一般市場ニテ賣却シ食料品若クハ生活ニ必要ナル工業品ハ市場ニテ買入ルルモノナリ從テ勞働者ノミハ兎ニ角日常生活ニ必要ナル食料及工業品ニ付テハ一定ノ數量ヲ國定價格ニテ配給セラルルコトヲ保障セラレ居ルニ拘ラス

B

在ソヴィエト聯邦日本大使館

農民ニアリテハ生活必須品ノ配給ニ關シテハ何等國家ヨリ保障セラレス而モ國家ニ對シテハ國定價格ニテ農産品給付ノ重大義務ヲ課セラレ唯タ一定ノ給付義務ヲ完了スル場合初メテ殘餘ノ農業生産品ノ自由處分ヲ許容セラルルニ過キス其ノ剩餘アルト否トヲ問ハス國家ニ對スル農業生産品ノ給付義務ハ最先ニ之ヲ果ササルヘカラサル次第ナルヲ以テ現在農民ハ「ソ」聯邦ノ社會主義經濟建設ノ下數トナリ居ル實情ナルヲ以テ其ノ不平殆ント測リ知ルヘカラサルモノニシテ其ノ苦痛モ到底一般ノモノトハ比較トナラサルモノナリ

他方勤務員ハ云フ迄モナク勞働者ト雖モ一家眷屬ヲ有スルモノニアリテハ其ノ日常生活ハ容易ナラス配給セラルル以外ノ日常生活必須品ハ之ヲ自由市場ニ求メサルヘカラス毎日必要ナル食料品ヲ如何ニシテ調達スヘキヤノ問題ハ今日「ソ」聯邦ノ勤勞者ニ共通ナル現實ノ一大問題ナリ然ルニ勤勞者カ國家ヨリ配給ヲ受クル一定量ノ物資ノ國定價格ト自由市場ニ於ケル價格（例ヘハ「パン」ノ

B

在ソヴィエト聯邦日本大使館

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

配給手帳ニヨリ購入スル「パン」ノ國定價格一「キロ」白「パン」十四哥ナルニ反シ自由市場ニアリテハ一「キロ」白「パン」七留黑「パン」二留ナリ）トノ懸隔ハ益々甚シク一「キロ」ノ牛肉十五留、粗末ナル一着ノ出來合外套四百留、數ケ月ノ使用ニ堪ヘサル靴一足二百留テフ法外ナル自由市場ニ於ケル價格ニ對シ勤勞者ノ收入（優良ナル勞働者及勤務員ノ普通ノ月收カ自由市場ニ於ケル物價ニ比較スレハ謂フニ足ラサル額（賃銀ハ家屋及配給其ノ他ニヨリ種々雜多ニシテ一概ニ云フコト能ハサルモ普通勞働者中二百五十留内外ノモノ最モ多ク最低ノモノハ百留前後ナリ又勤務員ハ普通百五十留乃至二百留内外ナリ）現實ノ事態ニ勤勞者カ何時マテ忍耐シ得ラルルヤハ現在「ソ」聯邦ノ國民經濟カ直面セル大問題ニシテ黨及政府ハ早晩本問題ノ解決ニ逢着セサルヘカラス實物經濟ニ依ルカ將又現行貨幣制度ニ根本改正ヲ加フルカ何レニシテモ其ノ結果ハ「ソ」聯邦ノ國民經濟ニ一大革命ヲ齎來スヘシ實物經濟ハ共產主義ノ窮極ノ理想ニシテ又今日エアリテハ何人モ實

物ヲ要求スル處ナルモ現在ノ「ソ」聯邦ノ困難ナル經濟事情ハ物資生產ノ減少ニ基因スルモノナルカ故ニ實物經濟ノ如キ到底實行シ得ヘカラサル理想ニ過キス又貨幣制度ノ改正ニ付テモ現在紙幣ノ購買力ノ激減ハ物資就中一般消費品ノ極度ノ缺乏ト今日迄ノ重工業偏重主義ニ加フルニ公共化各經濟部門カ何レモ所定ノ計畫ヲ實現スルコト能ハサルニ伴フ通貨ノ異常ナル膨張ニ依レモノナルカ故ニ一般消費品ノ生產ヲ增加スルト共ニ各經濟部門ノ計畫ノ實現特ニ品質及生產費ノ方面ニ於ケル計畫ノ實現ヲ勵行シテ通貨ノ購力性ヲ確保スルニアラサル限リ其ノ禍因ハ依然現存スヘキニ付貨幣制度ノ改正ニ依リテハ其ノ目的ヲ達成スヘクモアラス

黨及政府ハ前記ノ通リ先ツ國家財政ニ對スル重壓ヲ輕減シ勞働者及勤務員ニ對スル物資ノ配給ヲ改善シ以テ勞働ノ生產力ヲ增加シ他方財政的規律ヲ勵行シテ計畫ノ實現ヲ確保スルト共ニ輕工業部門ノ發展ヲ促進シ物資ト通貨トノ權衡ヲ圖リ自由市場ニ於ケル工業製品ノ物價ノ高騰ヲ抑止スルト共ニ自由市場ニ農業生產品ノ出

E-0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

廻ヲ奬勵シ剩餘農產品ノ自由販賣許容政策ヲ徹底セシメ以テ「ソ」聯邦ノ現國民經濟ノ根本的變動ヲ回避セントシツアルモノト觀察セラルルカ同政策今後ノ歸趨如何ハ「ソ」聯邦ノ國民經濟ノ動向ヲ決定スルモノトシテ注視ニ値スヘシ

右報告ス

追而本報告ハ海外經濟事情ニ掲載セサル樣御取計相成度シ

本信寫送付先　在歐米各大使、波蘭及「ルーマニア」各公使
國際聯盟事務局長、「フインランド」出張所

在ソヴィエト聯邦日本大使館

B.

E-0286

0483

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp